

FS-C2026MFP/FS-C2126MFP

クイックインストールガイド



ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

はじめに

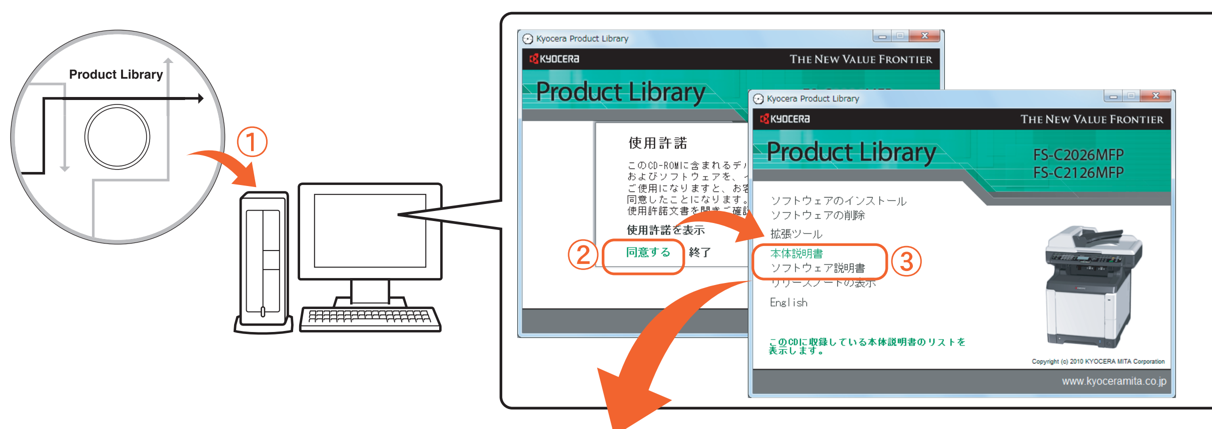
FS-C2026MFP/FS-C2126MFP をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい設置のしかたや操作方法、および簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。
ご使用前に必ず本書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。



重要
本機を設置する前に、本製品に同梱のセーフティガイドをお読みください。

付属マニュアルの紹介

本製品に付属の CD-ROM（Product Library）には、PDF 形式のマニュアルが収録されています。目的に応じてお読みいただき、本機を十分にご活用ください。



- **本体説明書**

使用説明書	用紙の補給やコピー、プリント、スキャンの操作方法、各種初期設定などについて説明しています。
FAX 使用説明書	ファクスに関わる機能について説明しています。

- **ソフトウェア説明書**

京セラ COMMAND CENTER 操作手順書	コンピュータから Web ブラウザで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。
プリンタドライバ操作手順書	プリンタドライバをインストールする方法や、プリンタ機能について説明しています。
Network FAX ドライバ操作手順書	Network FAX 送信機能を使用するために、Network FAX ドライバのインストール方法や操作方法について説明しています。
KM-NET for Direct Printing 操作手順書	Adobe Acrobat®/Reader® を起動せずに PDF ファイルを印刷できる機能について説明しています。
KMnet Viewer 操作手順書	KMnet Viewer で、ネットワーク上のプリントシステムをモニタする方法について説明しています。
プリスクライブコマンド リファレンスマニュアル	ネイティブプリンタ言語（プリスクライブコマンド）について説明しています。
プリスクライブコマンド テクニカルリファレンス	プリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。

マニュアルをご覧になるためには Adobe Reader のバージョン 8.0 以上をインストールする必要があります。

目次

設置

設置は次の順序で行ってください。

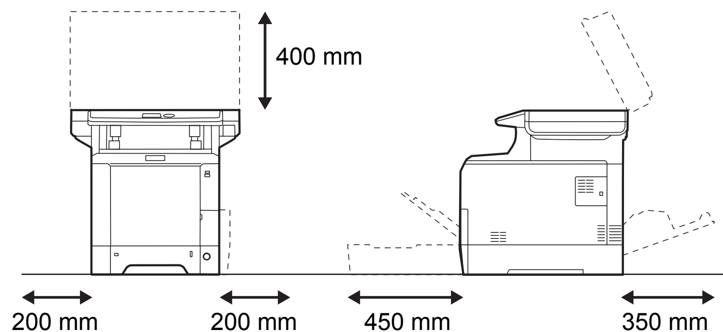
設置の準備



注意

本機を設置する際は、充分なスペースを確保してください。特に通気口は、壁などに近づけないでください。充分なスペースがないと発熱や性能不良の原因となります。

設置スペース



設置環境

- 温度：10 ～ 32.5 ℃（ただし 32.5 ℃時は湿度 70% 以下）
- 湿度：15 ～ 80%RH（ただし 80% 時は温度 30 ℃以下）
- 電源：100 V AC、50 Hz / 60 Hz、10.9 A

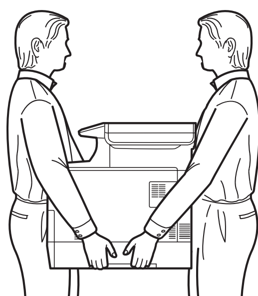
開梱と梱包内容の確認

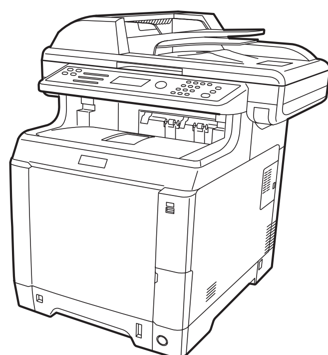
1 本体と付属品を梱包箱から取り出してください。

取り出した本体と付属品は、安定した場所に置いてください。

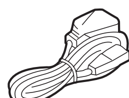
 **重要**

本体は 2 人で持ち運んでください。

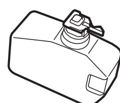




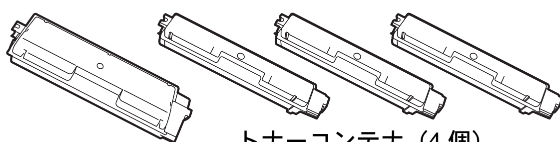
本体



電源コード



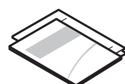
廃棄トナーボックス



トナーコンテナ（4 個）



CD-ROM

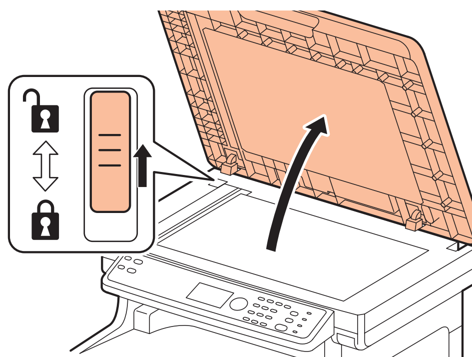


クイックインストールガイド（本書）、保証書などの印刷物

ファクス機能を装備した製品の場合は、モジュラーコードも同梱されています。

2 梱包のテープと防護シートを取り外してください。

3 ロックレバーを解除の位置に動かしてください。



 **重要**

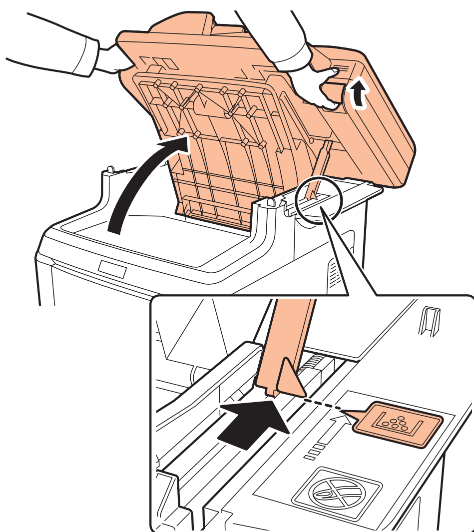
ロックレバーを解除しないと、電源を入れた際にエラーメッセージが表示されます。

トナーコンテナと廃棄トナーボックスの装着

1 **本体右側の上トレイレバーを引きながら、上トレイを止まるまで開けてください。**

開閉部右側にあるマーカーが図の位置にくるまで上トレイを開いてください。

上トレイを図の位置まで開けないと、トナーコンテナが装着できません。

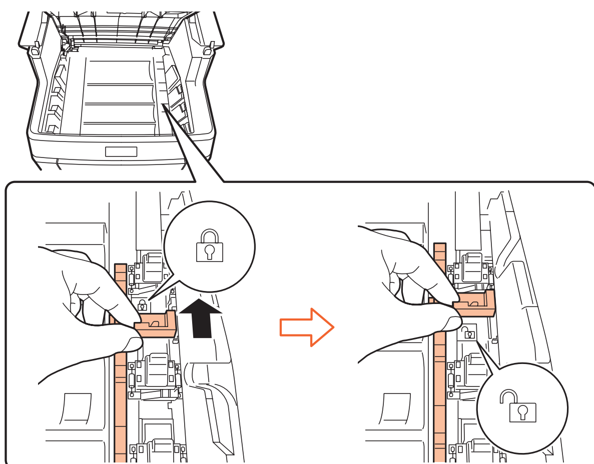


注意

転倒防止のため、上トレイと原稿送り装置は同時に開きません。

2 **トナーコンテナを装着する前に、リリースレバー（黄色）を止まるまでスライドさせてください。**

リリースレバーをスライドさせないとトナーコンテナが装着できません。





ワンポイント

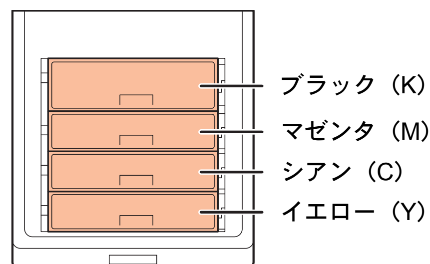
スライド動作が重い場合は、少し下に押しながらスライドさせてください。

3 **トナーコンテナを取り付けてください。**

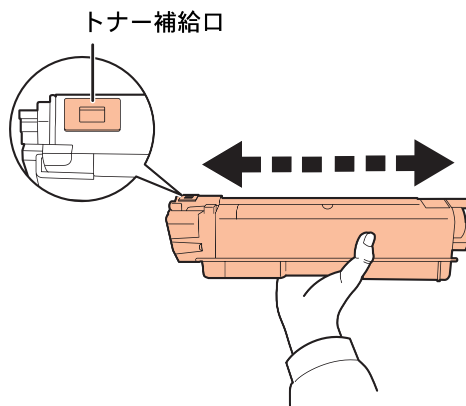


重要

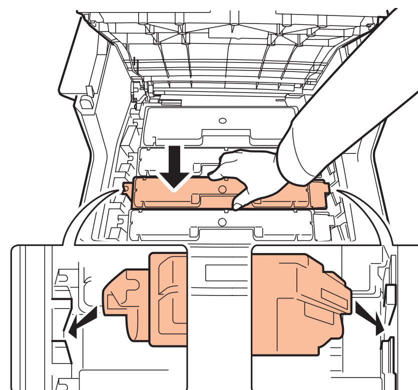
トナーコンテナは各色の正しい位置に装着してください。



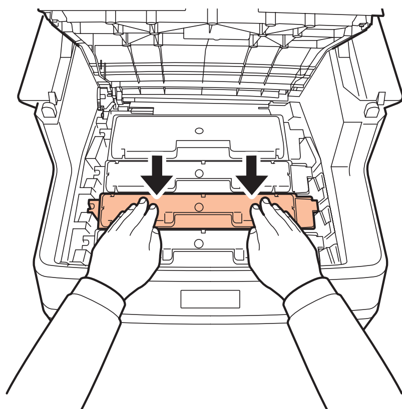
(1) **トナーコンテナを、トナー補給口を上側にして5、6回振ってください。**



(2) **トナーコンテナの交換手順を示した刻印のある面を上側にし、左右のミゾに合わせて、水平に装着してください。**



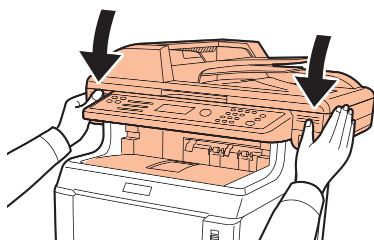
(3) トナーコンテナを押して、カチッと音がするまで確実に装着してください。



(4) 他の色のトナーコンテナも、同じ手順で装着してください。

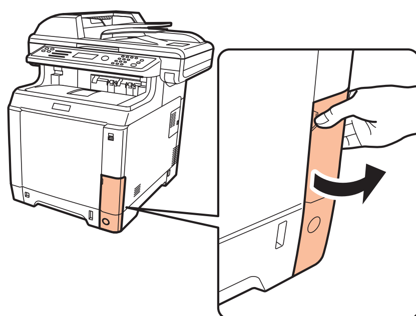
4 上トレイを閉めてください。

上トレイを閉める際、操作パネル部を押さないでください。

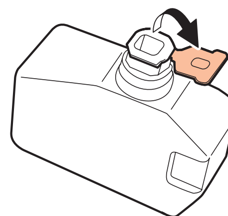


注意
上トレイを閉める際、指をはさまないようにご注意ください。

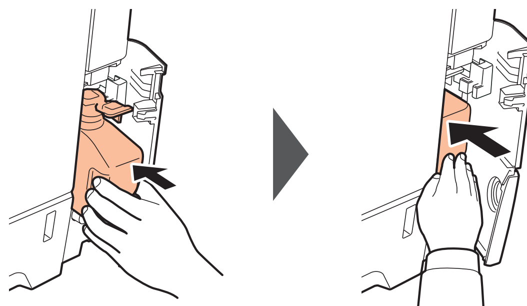
5 廃棄トナーカバーを開けてください。



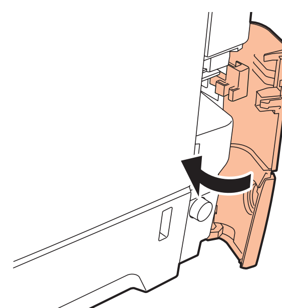
6 廃棄トナーボックスのキャップを開けてください。



7 図のように廃棄トナーボックスを、ロックされるまで押し込んでください。

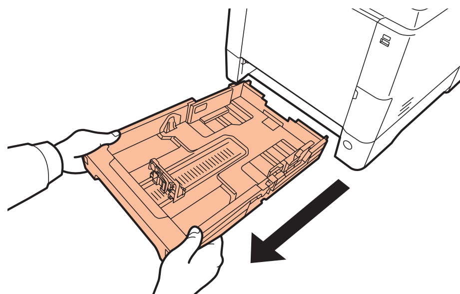


8 廃棄トナーカバーを閉めてください。

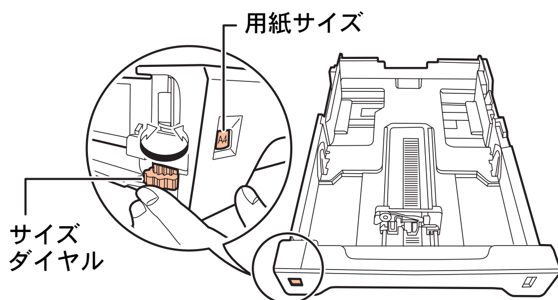


用紙のセット

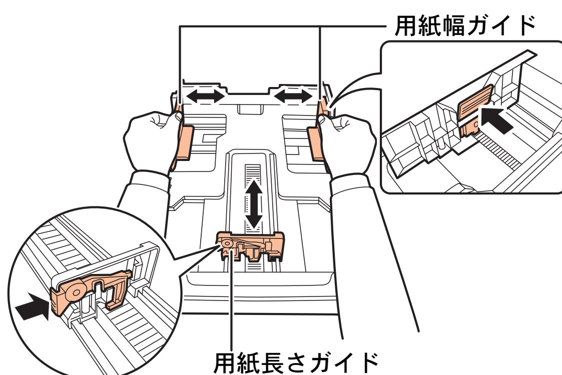
1 給紙カセットを引き出してください。



2 サイズダイヤルを回して、使用する用紙サイズが見えるように合わせてください。



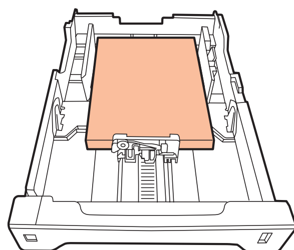
3 左右の用紙幅ガイドと、用紙長さガイドを用紙サイズに合わせてください。



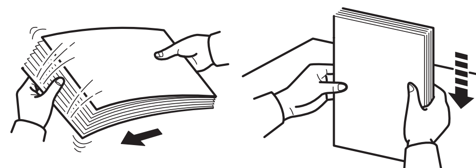


重要

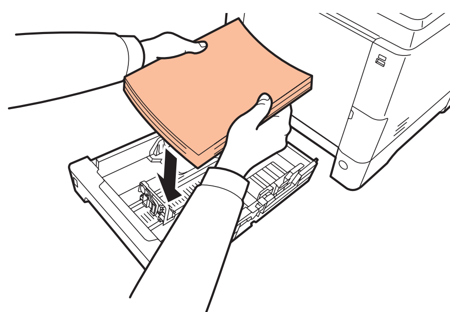
A5 サイズの用紙は必ず縦長方向にセットしてください。



4 給紙カセットに用紙を入れる際には、用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよく揃えてください。



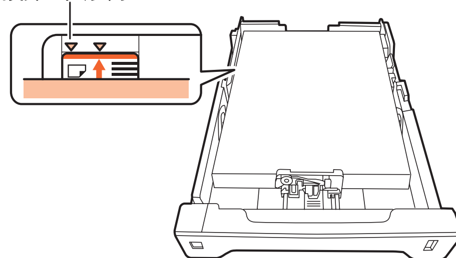
5 印刷する面を上にして、給紙カセットに用紙を入れてください。



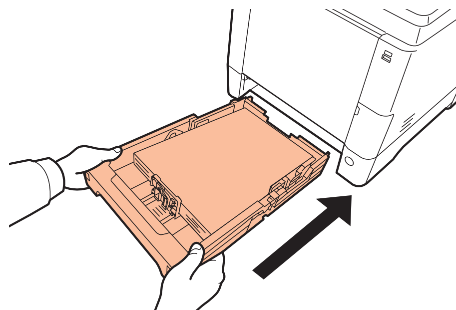


重要

用紙上限表示を超えないように用紙を入れてください。



6 給紙カセットを奥まで押し込んでください。

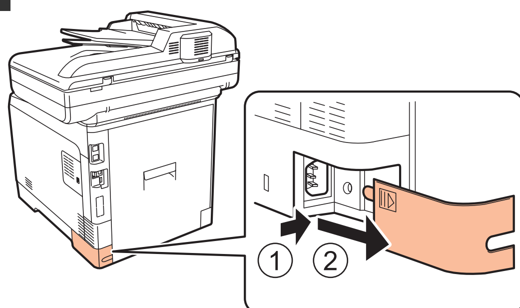


電源コードの接続と電源の投入

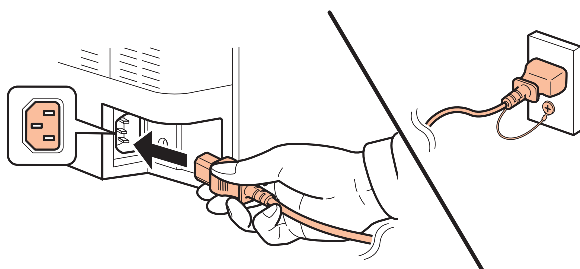
本機に電話コードを接続し、電源を入れてください。

電源コードの接続

1 電源カバーを取り外してください。



2 付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。



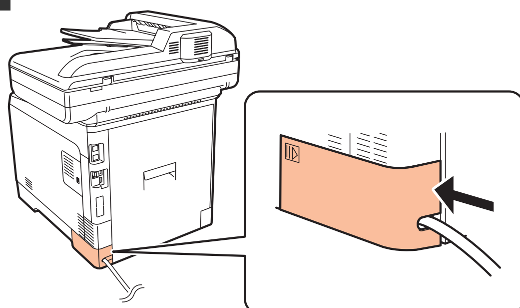
 **警告**

必ずアース線はアース対象物に接続してください。

重要

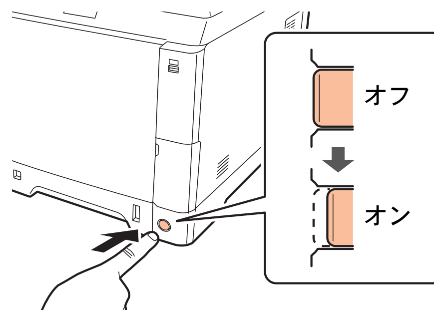
電源コードは必ず本機に付属のものをご使用ください。

3 電源カバーを元に戻してください。



電源の投入

主電源スイッチを押して電源を入れてください。



ウォームアップが始まります。初めて電源を入れたときは、コピーができる状態になるまで 4 〜 5 分かかります。

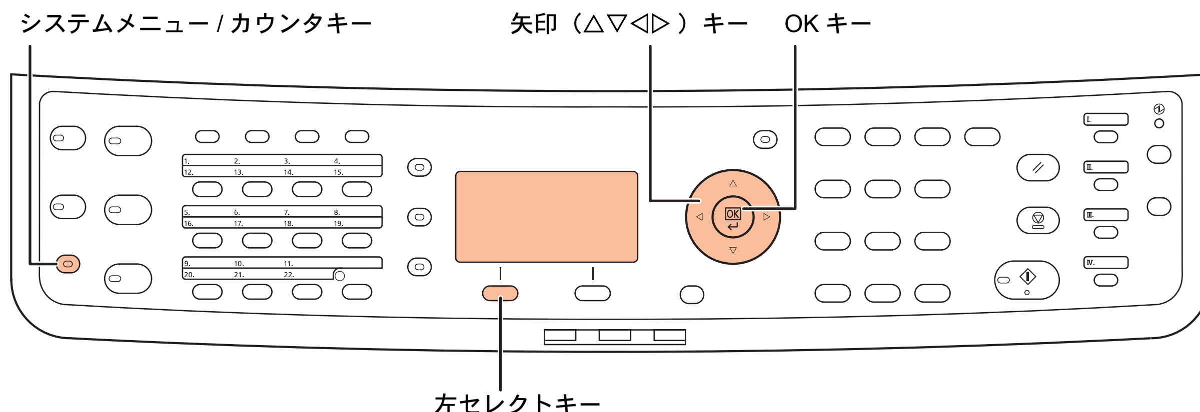
 **重要**

- 電源スイッチは操作パネルにもあります。正しい電源の入れかた / 切りかたについては、26 ページの「電源の入れかた / 切りかた」を参照してください。
- 電源を入れた際にエラーメッセージが表示された場合は、設置の手順を見直し、ロックレバーが正しく解除されているか(3 ページ)などを確認してください。

動作確認（ステータスページの印刷）

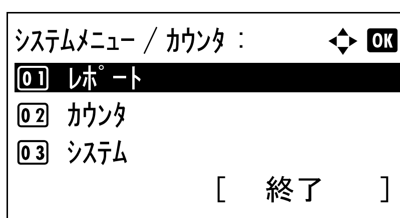
本機の電源が入った後、次の手順でステータスページが印刷できるか、動作確認を行ってください。

操作するところ

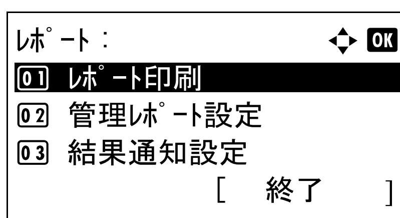


1 システムメニュー /カウンタキーを押してください。

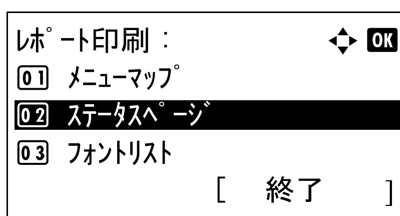
2 [レポート] が選択されていることを確認し、OKキーを押してください。



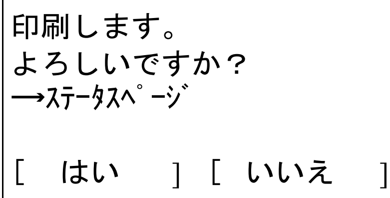
3 [レポート印刷] が選択されていることを確認し、OKキーを押してください。



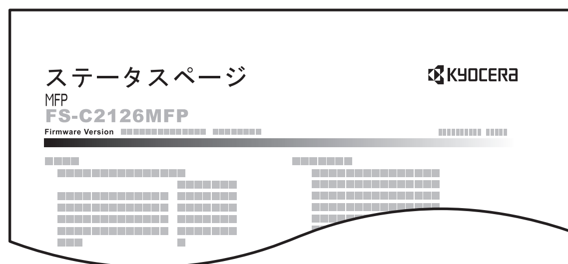
4 ▽キーを押して [ステータスページ] を選択し、OKキーを押してください。



5 [はい]（左セレクトキー）を押してください。



ステータスページの印刷が始まります。



6 ステータスページの印刷が正常に行えた場合は、26ページの「電源の切りかた（主電源スイッチを切る場合)」を参照して本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、インタフェースケーブルの接続へ進んでください。

インタフェースケーブルの接続

本機のプリンタ機能やスキャナ機能を使用するためには、本機とコンピュータをインタフェースケーブルで接続し、ソフトウェアをインストールする必要があります。
本機は標準で次のインタフェースを装備しています。インタフェースによって使用できる機能は異なります。本機を使用する環境に応じてインタフェースケーブルを接続してください。（インタフェースケーブルは別売りです。）

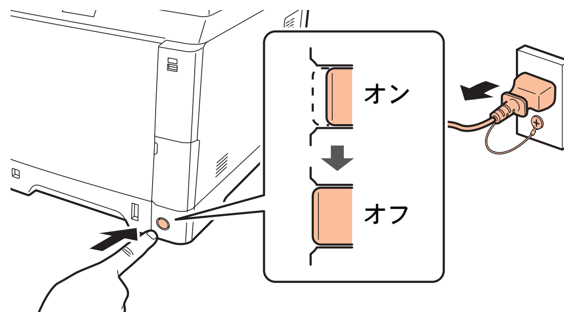
使用する機能	インタフェース	必要なケーブル
プリンタ / スキャナ / スキャナ（TWAIN/WIA）/ Network FAX?	ネットワークインタフェース	ネットワークケーブル （10Base-T または 100Base-TX、シールド付）
プリンタ / スキャナ（WIA）	USB インタフェース	USB2.0 適合ケーブル （Hi-Speed USB 準拠 5.0m 以下、シールド付）

?Network FAX およびファクス機能は、ファクス機能を装備した製品でのみ使用できます。Network FAX について詳しくは、FAX 使用説明書を参照してください。



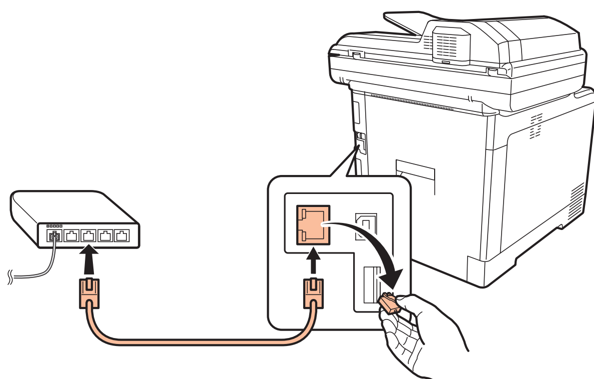
重要

初めてケーブルを接続するときは、主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
正しい電源の切りかたについては、26 ページの「電源の切りかた」を参照してください。



ネットワークに接続して使用する場合

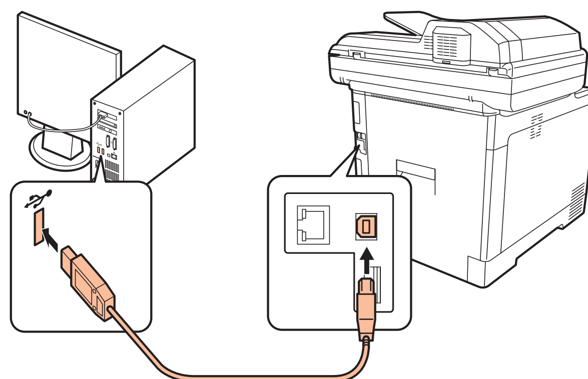
ネットワークインタフェースをお使いの場合、キャップを外してケーブルを接続してください。



ネットワーク設定について

本機をネットワークに接続した後は、必要に応じてネットワーク設定を行ってください。工場出荷時は、自動的に IP アドレスが割り当てられるように設定されています。（DHCP が有効に設定されています。）固定 IP アドレスの入力など、詳細なネットワーク設定を手動で行う場合は、使用説明書 8 章 初期設定（システムメニュー）の「ネットワーク設定」を参照してください。

USB 接続で使用する場合



ファクス機能を使用するための接続（ファクス機能を装備した製品のみ）

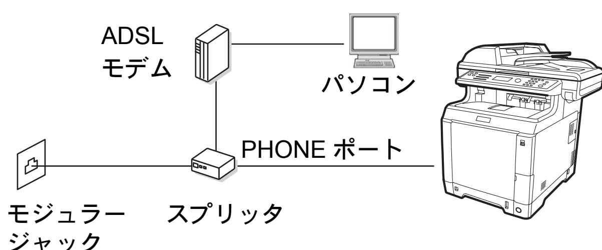
本機のファクス機能を使用する場合は、ご使用の回線種類を確かめ、次の手順でモジュラーコードを接続してください。

一般的なファクスの接続例

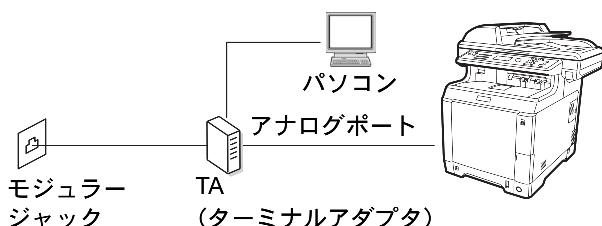
• 一般電話回線の場合



• ADSL の場合



• ISDN の場合



IP 電話回線のご使用について

ブロードバンド通信網（光ファイバー、CATV、ADSL など）による IP 電話回線をご利用になるときは、送 / 受信が正常に行えないことがあります。その場合はご加入の回線事業者へお問い合わせください。

ナンバーディスプレイについて

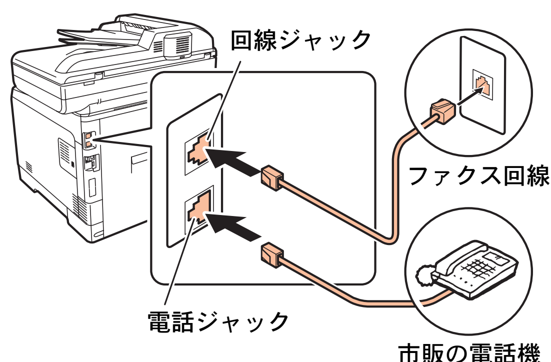
本製品はナンバーディスプレイ表示に対応していないため、ナンバーディスプレイサービスを契約している回線に接続すると、受信が正常に行えないことがあります。

モジュラーコードの接続

モジュラーコードを本体の回線ジャックに接続してください。

市販の電話機を接続する場合は、本体の電話ジャックに接続してください。

本製品に接続するモジュラーコードは2芯のものを使用してください。4芯のモジュラーコードは使用できません。



回線種類の設定について

本機の回線種類は工場出荷時［プッシュ回線］に設定されています。ご契約の回線がダイヤル回線の場合は、44 ページの「ファクス機能を使用する前に」を参照して変更してください。この選択を誤ると、ファクスの送信ができませんのでご注意ください。

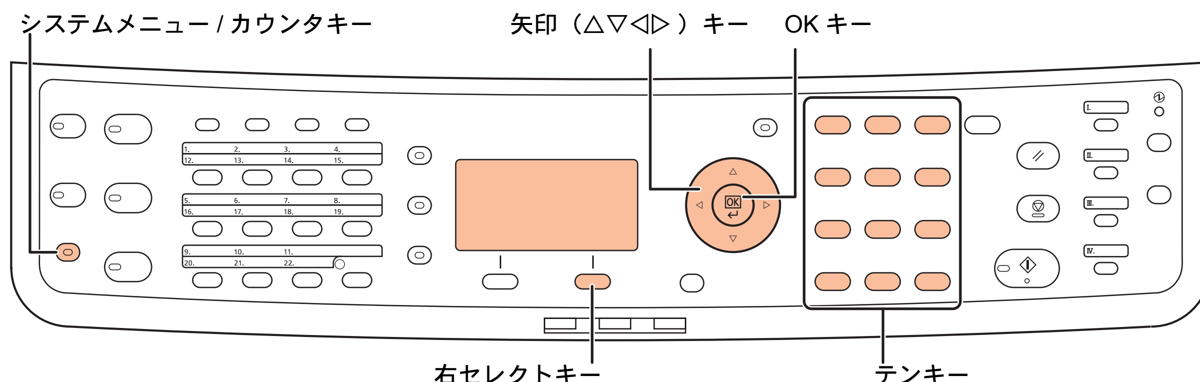
自局情報の登録について

ファクス機能をご使用になる前に、44 ページの「ファクス機能を使用する前に」を参照して自局情報を登録してください。登録した情報は、送信先で印刷される際一緒に印刷されます。

日付と時刻の設定

本機の設置やケーブル類の接続が完了したら、本機の電源を入れて日時の設定を行います。日時は、送信機能でメールを送った際にメールのヘッダに記録されます。また、ファクス機能では時刻を指定して送信する際に使用されるので、正しい日時を設定してください。

操作するところ



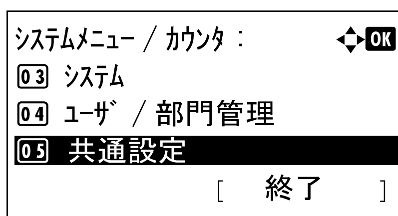
1 主電源スイッチを押して、本機の電源を入れてください。

詳しくは、7ページの「電源コードの接続と電源の投入」を参照してください。

2 操作パネルのシステムメニュー/カウンタキーを押してください。

3 [共通設定] を選択してください。

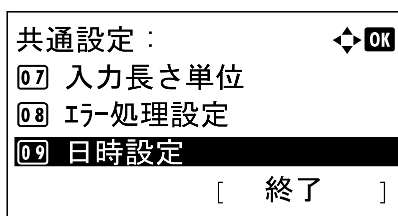
(1) △または▽キーを押して、[共通設定] を選択してください。



(2) OKキーを押してください。
共通設定メニューが表示されます。

4 [日時設定] を選択してください。

(1) △または▽キーを押して、[日時設定] を選択してください。



(2) OKキーを押してください。
ログイン画面が表示されます。

5 ログインユーザ名とパスワードを入力してください。

 **重要**

設定を行うために、管理者権限を持つユーザでログインする必要があります。工場出荷時に登録されている管理者のログイン情報については、13ページの「工場出荷時のログインユーザ名とパスワードについて」を参照してください。

(1) OKキーを押してください。
ログインユーザ名の入力画面が表示されます。

(2) [文字]（右セレクトキー）を押して数字入力（半英数）に切り替えてください。

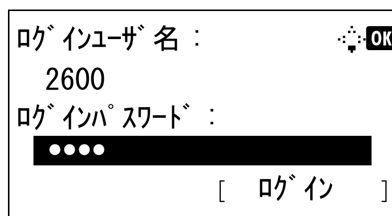
(3) テンキーを押してログインユーザ名（2600）を入力し、OKキーを押してください。

(4) ▽キーを押してカーソルを移動し、OKキーを押してください。
ログインパスワードの入力画面が表示されます。

(5) [文字]（右セレクトキー）を押して数字入力（半英数）に切り替えてください。

(6) テンキーを押してログインパスワード（2600）を入力し、OKキーを押してください。

(7) [ログイン]（右セレクトキー）を押してください。
日時設定メニューが表示されます。



6 [日付/時刻] を選択してください。

(1) △または▽キーを押して、[日付/時刻] を選択してください。

日時設定 : ✥OK
01 日付 / 時刻
02 日付形式
03 時差
[終了]

(2) OKキーを押してください。

日付/時刻メニューが表示されます。

7 現在の日付を入力してください。

(1) 年、月、日それぞれを選択して入力してください。

◁または▷キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。△または▽キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

日付 / 時刻 : ✥OK
年 月 日
2010 01 01
(時差 :Tokyo)

(2) OKキーを押してください。


ワンポイント

工場出荷時、日付の表示形式は年月日の順に設定されています。また、時差（本機を使用する地域）は東京に設定されています。これらを変更する場合は、使用説明書 2 章 使用前の準備 の「日付と時刻の設定」を参照してください。

8 現在の時刻を入力してください。

(1) 時、分、秒それぞれを選択して入力してください。

◁または▷キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。△または▽キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

日付 / 時刻 : ✥OK
時 分 秒
11 : 45 : 50
(時差 :Tokyo)

(2) OKキーを押してください。

「完了しました」が表示され、日時設定メニューに戻ります。

9 [終了]（右セレクトキー）を押してください。

日時設定 : ✥OK
01 日付 / 時刻
02 日付形式
03 時差
[終了]

工場出荷時のログインユーザ名とパスワードについて

本機には機器管理者の権限を持つデフォルトユーザが 1 件登録されています。機器管理者は本機のすべての操作・設定が行えます。デフォルトユーザのユーザ名やパスワードは次のとおりです。

ユーザ名 :DeviceAdmin
ログインユーザ名 :2600
ログインパスワード :2600

ユーザ名、ログインユーザ名、ログインパスワードは、セキュリティ保護のため定期的に変更することをお勧めします。変更方法については、使用説明書 11 章 管理 を参照してください。

COMMAND CENTER について

京セラ COMMAND CENTER（以下、COMMAND CENTER）は、プリントシステムの設定や管理を行うツールです。本機の状態や設定内容の確認、ネットワークやセキュリティの設定変更などができます。また、アドレス帳の登録名などを漢字入力することができます。
COMMAND CENTER は、本機をネットワークに接続してご使用の場合に、同一ネットワークに接続されたコンピュータからアクセスできます。Web ブラウザを起動し、アドレス欄に本機の IP アドレスを入力してください。例 http://192.168.48.21/.

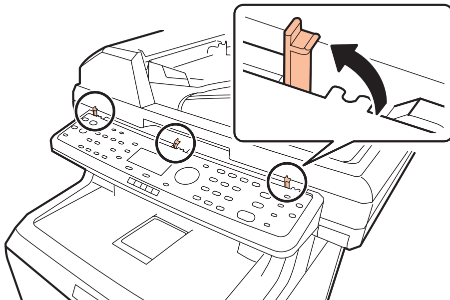


ページ上部にあるタブでページを切り替え、左側のナビゲーションバーからカテゴリを選択してください。
管理者パスワードを設定すると、スタートページ以外への一般ユーザのアクセスを制限できます。セキュリティを確保するために、管理者パスワードの設定をお勧めします。工場出荷時は、デフォルトの管理者パスワード（admin00）が設定されています。
操作方法や設定方法など、詳細は、京セラ COMMAND CENTER 操作手順書を参照してください。

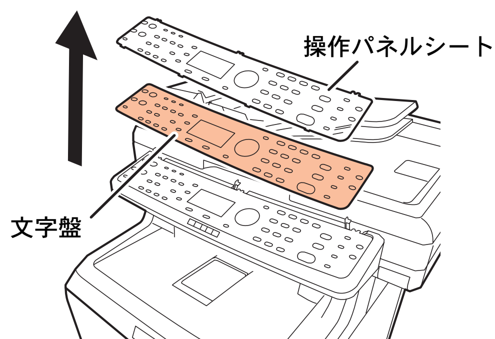
操作パネルシートの取り外し

操作パネルのプログラムキーやワンタッチキーに機能を登録した場合、操作パネルシートを取り外して文字盤に名前を書き込むことができます。

1 操作パネル上部のロック（3か所）を解除してください。

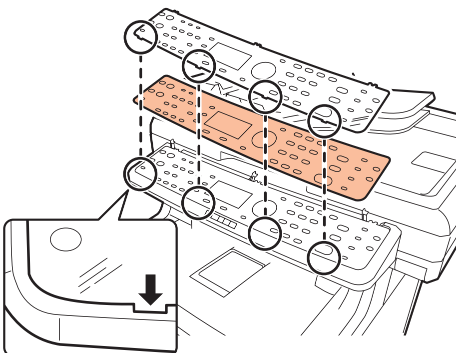


2 操作パネルシートと文字盤を取り外してください。

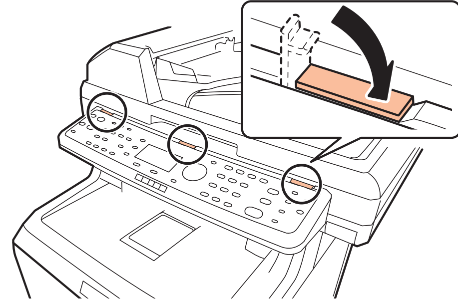


3 文字盤に機能名などを書き込んでください。

4 文字盤を操作パネルに取り付け、操作パネルシートの爪（4か所）を、切り欠きに差し込んでください。



5 操作パネル上部のロック（3か所）を元の位置に戻してください。



ソフトウェアのインストール

ここでは、本機に付属の CD-ROM（Product Library）からソフトウェアをインストールする方法を説明します。インストールする環境や OS のバージョンによって使用できるソフトウェアは異なります。
各ソフトウェア（ドライバ / ユーティリティ）の詳細なインストール方法および使用方法は、CD-ROM に収録されている使用説明書または操作手順書を参照してください。

Windows へのインストール

インストール方法とソフトウェアについて

インストール方法は、高速モードとカスタムモードの 2 種類から選ぶことができます。選択した方法によって、インストールできるソフトウェアの種類や、プリンタポートの選択方法が異なります。

- **高速モード**

  本機を自動的に検出し、本機を使用するために必要なソフトウェアをインストールします。高速モードでは次のソフトウェアがインストールされます。

  -KX ドライバ（推奨プリンタドライバ）

  コンピュータ上のデータを本機でプリントするためのドライバです。1 つのドライバで、複数のページ記述言（PCL 5c/XL、KPDL など）をサポートします。本機の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタドライバです。

  -Kyocera TWAIN ドライバ（ネットワーク接続時のみ）

  TWAIN 対応アプリケーションソフトを使用して本機でスキャンするためのドライバです。

  -フォント

  本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォントです。

- **カスタムモード**

  プリンタポートの指定やインストールするソフトウェアを選択する場合に使用します。高速モードでインストールされるソフトウェアに加え、下記のソフトウェアから必要なものを選択できます。

  -KX（XPS）プリンタドライバ（Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008 のみ）

  マイクロソフト社が開発した XPS（XML Paper Specification）フォーマットに対応したプリンタドライバです。

  -Mini プリンタドライバ（XPS、PCL、KPDL）

  Microsoft Mini Driver 形式のドライバで、XPS、PCL、KPDL それぞれを エミュレーションして出力します。本機の持つ機能やオプション類の機能のうち、本ドライバでは使用できる機能に制限があります。

  -WIA ドライバ（Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008 のみ）

  WIA（Windows Imaging Acquisition）は、スキャナなどのイメージングデバイスと画像処理アプリケーションソフトの相互通信を可能にする Windows の機能です。OS に標準でインストールされている Windows FAX とスキャンなど、WIA 対応アプリケーションソフトを使って画像を取り込むことができ、TWAIN 対応アプリケーションソフトがコンピュータにインストールされていない場合などに便利です。

  -Network FAX ドライバ（ファクス機能を装備した製品でネットワーク接続時のみ）

  コンピュータ上のアプリケーションソフトで作成した文書を、本機を経由して送信することができます。

  -KM-NET for Direct Printing

  Adobe Acrobat/Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。

  -KMnet Viewer

  ネットワーク上の本機をモニタすることのできるユーティリティです。

インストールのしかた

ここでは、Windows 7 に高速モードでインストールする場合を例に説明します。



重要

ソフトウェアをインストールするときは、管理者権限でログオンする必要があります。

1 コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動してください。

「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。

2 付属のCD-ROM（Product Library）を、コンピュータの光学ドライブにセットしてください。

3 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。

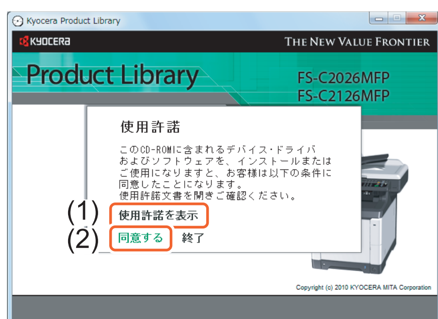
- Windows 7、Windows Server 2008、Windows Vistaの場合、ユーザアカウント制御画面が表示されるので、[はい]（[許可]）をクリックしてください。
- インストールプログラムが起動すると、メインメニューが表示されます。



ワンポイント

自動再生画面が表示されない場合、Windows のエクスプローラで CD-ROM の内容を表示させ、Setup.exe をダブルクリックしてください。

4 使用許諾に同意してください。



(1) [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。

(2) [同意する]をクリックしてください。

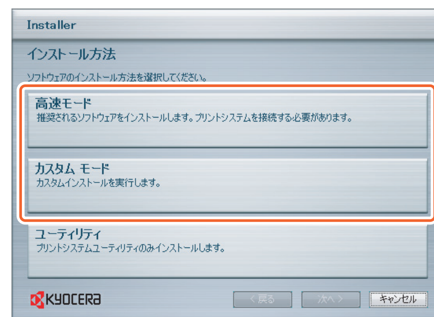
5 [ソフトウェアのインストール] をクリックしてください。

ソフトウェアインストールウィザードが起動します。



6 [高速モード]または[カスタムモード]をクリックしてください。

通常は[高速モード]を使用します。



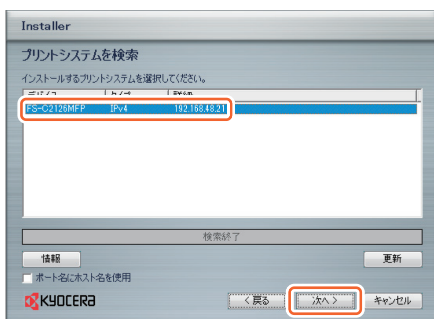
[高速モード]または[カスタムモード]をクリックすると、プリントシステムを検索画面が表示され、USB またはネットワークに接続された本機の検索が自動的に始まります。



ワンポイント

カスタムモードは、既存のプリンタポートを使用する場合や、特定のソフトウェアを選択してインストールする場合に使用します。たとえば、コンピュータにインストールされているフォントを上書きさせない場合は、カスタムモードを選択してフォントのチェックを外し、必要なソフトウェアのみをインストールしてください。

7 自動検出されたら、本機のモデル名をクリックし、[次へ]をクリックしてください。

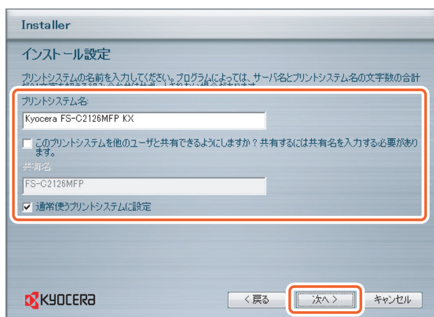


 ワンポイント

- 本機の電源が入っていないと検出されません。本機が検出されない場合、本機とコンピュータがネットワークまたは USB ケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、[更新] をクリックしてください。
- カスタムモードについて
  手順 6 で [カスタムモード] を選択した場合、[次へ] をクリックするとソフトウェアを選択する画面が表示されます。インストールするソフトウェアを選択して [次へ] をクリックしてください。
  また、カスタムモードの場合は上記画面に [ユーザ選択]/[検索] の選択ボタンが表示されます。[ユーザ選択] を選択すると、ソフトウェアを選択する画面が表示される前に、ご使用のモデルとポートを選択する画面が表示され、手動で選択することができます。

8 ネットワーク接続の場合は、プリンタの設定を行い、[次へ]をクリックしてください。

- この手順はネットワーク接続の場合のみ表示されます。USB接続では表示されません。
- ここでは、プリンタ名の変更、共有設定、通常使うプリンタへの設定が行えます。



 ワンポイント

「プリントシステム名」は、プリンタウィンドウおよび各アプリケーションソフトのプリンタ一覧に表示される名前です。

9 設定の確認画面が表示されたら、内容を確認して[インストール]をクリックしてください。

 ワンポイント

Windows セキュリティ画面が表示された場合、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。

10 インストールが完了しました画面が表示されたら、[終了]をクリックしてください。

- インストールウィザードを終了し、CD-ROM のメインメニューに戻ります。
- [終了]をクリックした後、デバイス設定のダイアログが表示された場合、本機に装着されているオプションなどの設定を行うことができます。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。詳しくはCD-ROM収録のプリンタドライバ操作手順書のデバイス設定を参照してください。

これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。

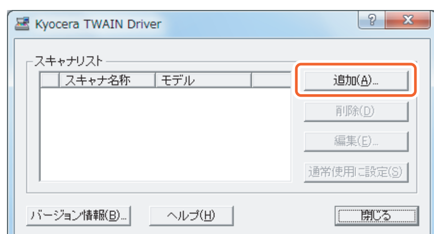
TWAIN ドライバ、WIA ドライバをインストールした場合は、続けて TWAIN ドライバの設定と WIA ドライバの設定を行ってください。

TWAIN ドライバの設定

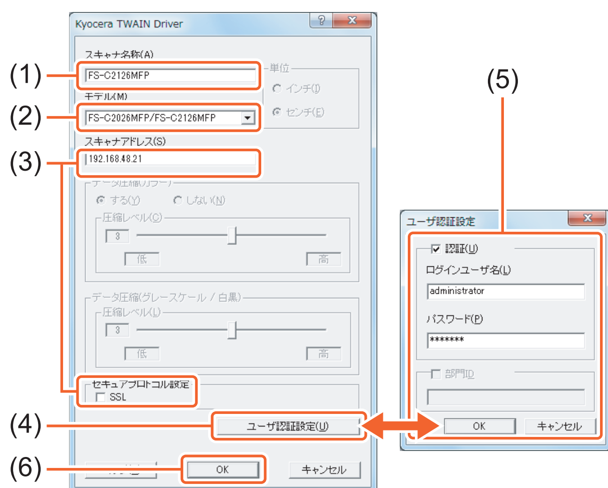
TWAIN ドライバに本機を登録してください。

1 Windowsのスタートボタン→[すべてのプログラム] → [Kyocera] → [TWAIN Driver Setting]を選択してください。

2 [追加]ボタンをクリックしてください。



3 TWAIN ドライバに本機を登録してください。



(1) 「スキャナ名称」に本機の名称を入力してください。

(2) 「モデル」の▼ボタンをクリックし、リストから本機を選択してください。

(3) 本機のIPアドレスまたはホスト名を入力してください。

本機でSSLを設定している場合は、[SSL]のチェックボックスにチェックを付けてください。

(4) [ユーザ認証設定]ボタンをクリックしてください。

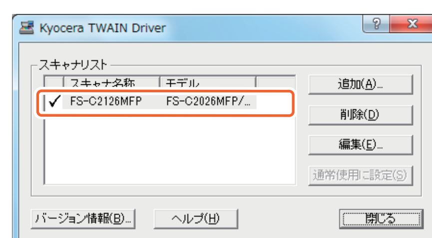
ユーザ管理が無効の場合、手順(6)に進んでください。

(5) [認証]のチェックボックスにチェックを付け、使用するログインユーザ名（64文字以内）とパスワード（64文字以内）を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

部門管理を使用している場合は、[部門]のチェックボックスにチェックを付け、部門コード（8桁以内）を入力してください。

(6) [OK]ボタンをクリックしてください。

4 本機が登録され、スキャナリストに本機の名称とモデル名が表示されます。





ワンポイント

[削除]ボタンをクリックすると、登録されている機器を削除できます。[編集]ボタンをクリックすると、名称などの変更ができます。

WIA ドライバの設定

(Windows 7、Windows Vista および Windows Server 2008)

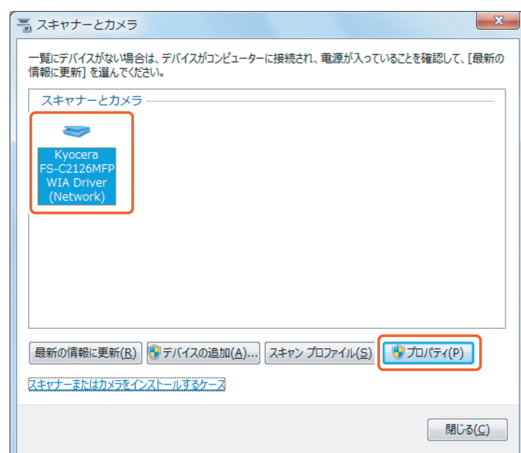
WIA ドライバをインストールした場合は、次の手順で設定してください。

1 Windows のスタートボタンをクリックし、「プログラムとファイルの検索」欄に「スキャナ」と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックしてください。

スキャナーとカメラ画面が表示されます。

- Windows Vista / Server 2008をご使用の場合は、Windows のスタートボタン→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[スキャナとカメラ]を選択してください。

2 本機と同じ名称の WIA ドライバを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックしてください。

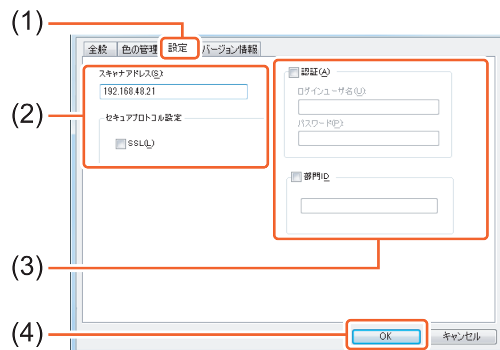




ワンポイント

「Windows セキュリティ」や「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合がありますが、弊社からご提供するドライバやソフトウェアについて、インストール後の動作に支障はありません。作業を継続してください。

3 設定を行ってください。



(1) [設定]タブをクリックしてください。

(2) ネットワーク接続の場合は、本機の IP アドレスが入力されているか確認してください。

本機で SSL を設定している場合は、[SSL] のチェックボックスにチェックを付けてください。
USB接続の場合は何も入力せずに、次の手順に進んでください。
ユーザ管理が無効の場合、手順(4)に進んでください。

(3) [認証] のチェックボックスにチェックを付け、使用するログインユーザ名（64文字以内）とパスワード（64文字以内）を入力してください。

部門管理を使用している場合は、[部門] のチェックボックスにチェックを付け、部門コード（8桁以内）を入力してください。

(4) [OK]ボタンをクリックしてください。

4 [閉じる] ボタンをクリックしてください。

Macintosh へのインストール

Macintosh では、本機のプリンタ機能が使用できます。次の手順でプリンタドライバをインストールしてプリンタを追加してください。

インストールのしかた

ここでは、Mac OS X v 10.6 にインストールする場合を例に説明します。



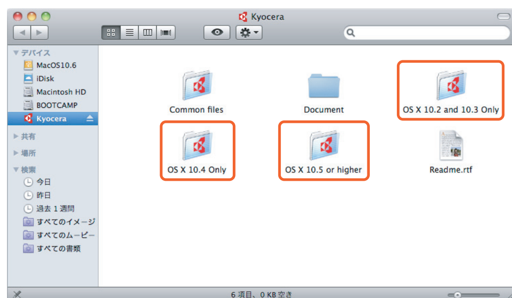
重要
Bonjour で接続する場合は、本機のネットワーク設定で Bonjour を有効にしてください。設定方法については使用説明書 8 章 初期設定（システムメニュー）の「ネットワーク設定」を参照してください。

1 本機とコンピュータの電源を入れてください。

2 付属のCD-ROM（Software Library）を光学ドライブへセットしてください。

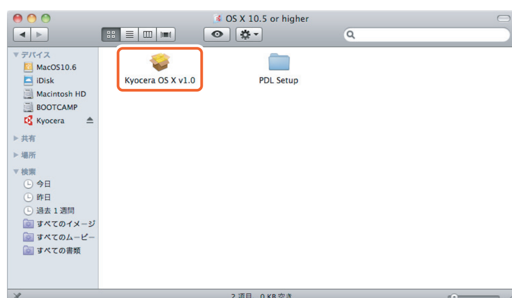
3 CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

4 使用しているOSのバージョンに合わせて、[OS X 10.2 and 10.3 only]、[OS X 10.4 only] 、または[OS X 10.5 or higher]をダブルクリックしてください。



5 [Kyocera OS X Japanese vx.x]をダブルクリックしてください。

プリンタドライバのインストールプログラムが起動します。



6 インストールプログラムの表示に従ってプリンタドライバをインストールしてください。



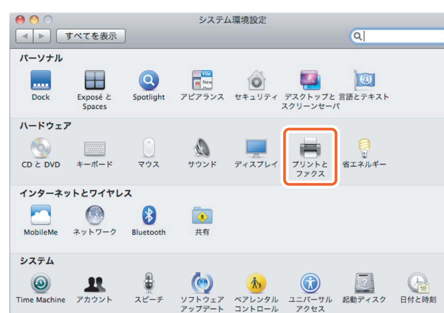


重要
名前とパスワードの入力画面が表示された場合は、OS にログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。

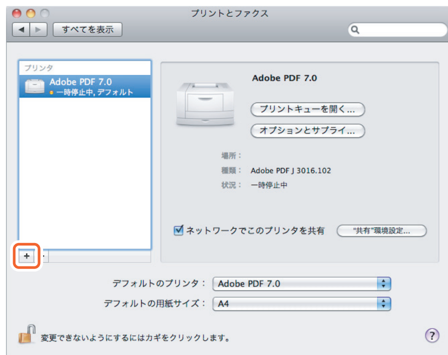
以上でプリンタドライバのインストールは完了です。

- USB 接続の場合
  自動的に本機の認識と接続が行われます。
- ネットワーク接続
  続けて以下の設定を行ってください。

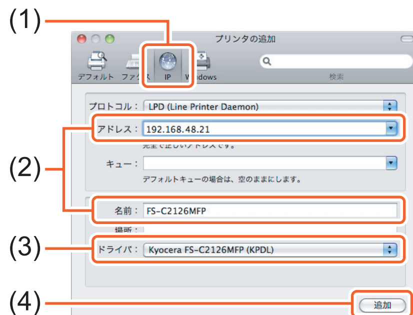
7 システム環境設定画面を開き、プリントとファクスをクリックしてください。



8 プリンタを追加するため、[+]をクリックしてください。



9 プリンタを設定してください。



(1) [IP]を選択してください。

(2) IP アドレスとプリンタ名を入力してください。

「名前」には、「IPアドレス」に入力した番号が自動的に入ります。必要に応じて変更してください。

(3) 本機と同じ名称のプリンタドライバが選択されていることを確認してください。

(2)でIPアドレスを入力すると、本機を検出して適切なプリンタドライバが自動的に選択されます。
PPDファイルは起動ディスクの次のフォルダにインストールされています。
[ライブラリ]（[Library]）- [Printers] - [PPDs] - [Contents] - [Resources] - [ja.lproj]

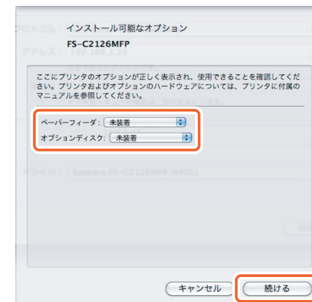
(4) [追加]をクリックしてください。



ワンポイント

- Bonjour接続で使用する場合は、(1)で[デフォルト]を選択し、「プリンタ名」に表示された項目をクリックしてください。「ドライバ」に本機と同じ名称のドライバが自動的に表示されます。
- Mac OS X v10.6は、AppleTalkに対応していません。

10 本機に装備されているオプションを選択し、[続ける]をクリックしてください。



11 設定したプリンタが追加され、印刷設定作業は終了です。



ソフトウェアのアンインストール

インストールしたソフトウェアを削除したい場合は、次の手順で行ってください。

Windows の場合

本機に同梱の CD-ROM（Product Library）を使って、ソフトウェアをアンインストール（削除）できます。

1 すべてのアプリケーションソフトを終了してください。

2 付属のCD-ROM（Product Library）を光学ドライブへセットしてください。

3 ソフトウェアのインストールと同じ手順で進み、[ソフトウェアの削除]をクリックしてください。

ソフトウェア アンインストールウィザードが表示されます。



4 削除したいソフトウェアを選択してください。

5 [アンインストール] をクリックしてください。

ソフトウェアの削除が開始されます。


ワンポイント

KMnet Viewer や、KM-NET for Direct Printing をインストールしているときは、個別のアンインストーラが別途起動しますので、画面の指示に従い、それぞれのアンストール作業を行ってください。

6 アンインストールの完了を知らせるウィンドウが表示されたら、[次へ]をクリックしてください。

7 システムを再起動するかどうかを選択した後、終了をクリックしてください。


ワンポイント

プログラムメニューからもアンインストールすることができます。
[スタート] → [すべてのプログラム] → [Kyocera] → [プロダクトライブラリのアンインストール] を順にクリックしてアンインストールプログラムを起動し、ソフトウェアのアンインストールを行ってください。

ご使用にあたって

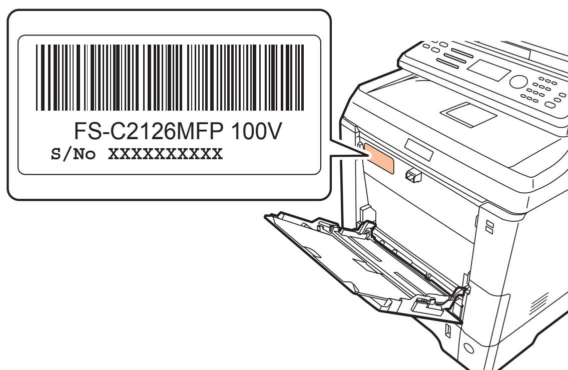
ここでは、操作パネルの説明や電源の入/切、原稿のセット方法など、本機の基本的な使用方法を説明しています。

本機のシリアル番号や状態の確認

本機のシリアル番号はお問い合わせの際に必要となる場合があります。また、今までに印刷した枚数やステータスなどを確認することができます。本機のシリアル番号や現在の設定状態などは、次の方法で確認できます。お問い合わせの際は、以下の確認を行ってからご連絡をお願いいたします。

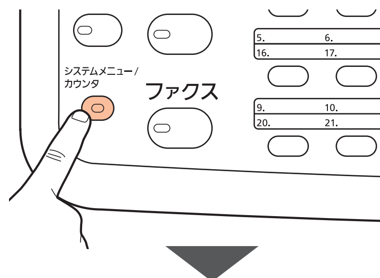
シリアル番号の確認

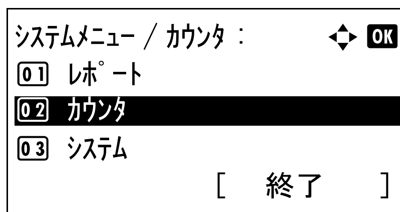
本体のシリアル番号は、以下に記載しております。



カウンタの確認

システムメニュー / カウンタキーを押して [カウンタ] を選択すると、本機で行った印刷や読み込みの枚数を確認できます。

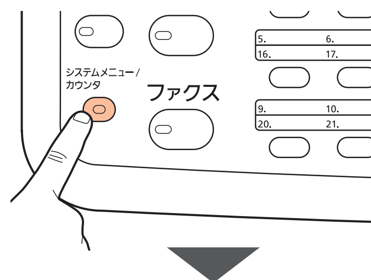


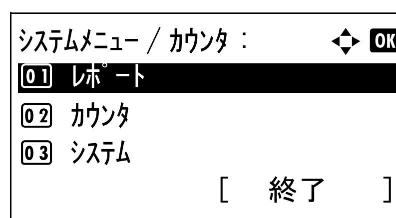


カウントされる項目や詳細な確認方法については、使用説明書 11 章 管理 の「カウンタの確認」を参照してください。

レポートの印刷について

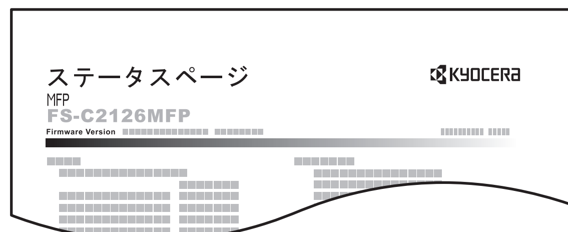
システムメニュー / カウンタキーを押して [レポート] を選択すると、本機の設定や状態を確認するため、各種レポートを印刷することができます。





ここでは、メニューマップ、ステータスページ、フォントリストが印刷できます。

例）ステータスページ



詳細については、使用説明書 8 章 初期設定（システムメニュー）の「レポートの印刷 / 通知」を参照してください。

メニューマップについて

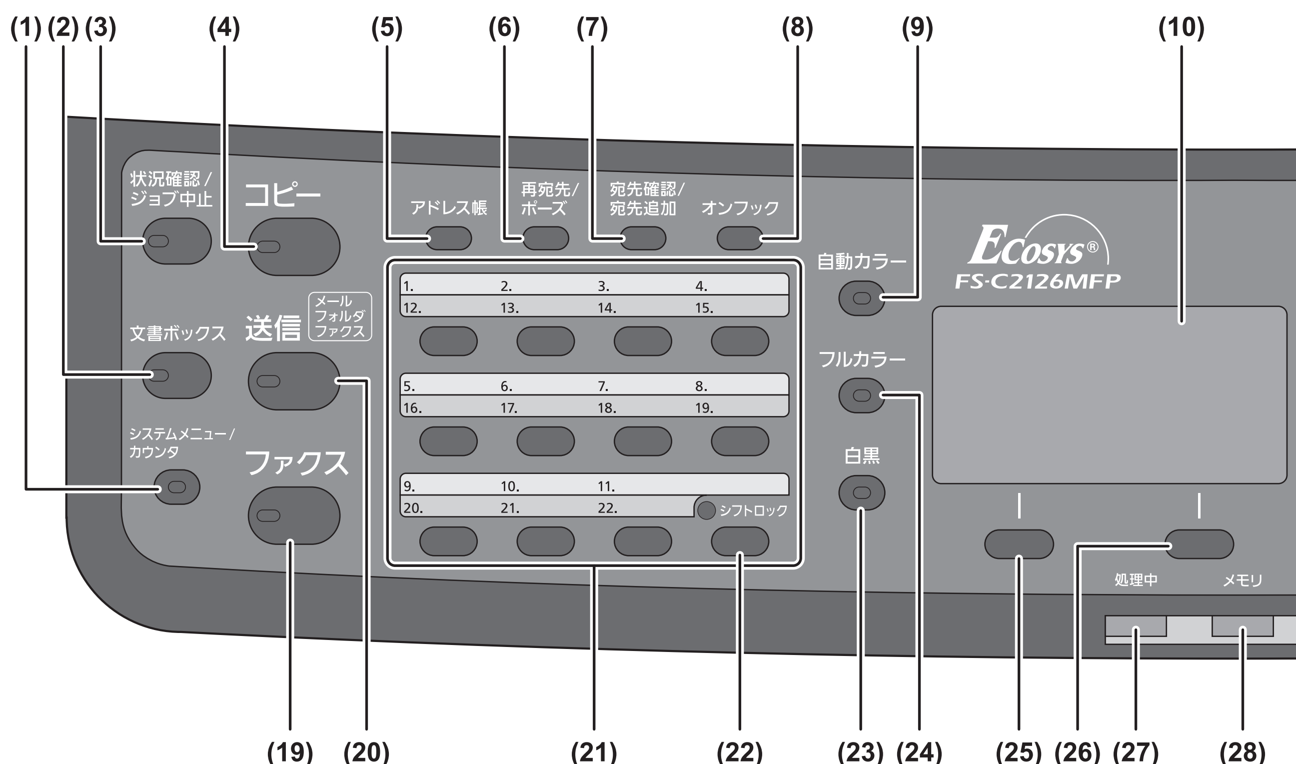
本機の機能や設定など、メッセージディスプレイに表示される項目を階層化したメニューマップを使用説明書と FAX 使用説明書に掲載しています。本機を使用する際の参考としてご活用ください。



ワンポイント

ユーザ管理が設定されているとき、カウンタを確認する場合やレポートを印刷する場合は、管理者権限を持つユーザでログインする必要があります。13 ページの「工場出荷時のログインユーザ名とパスワードについて」を参照してください。

操作パネル



(1) **システムメニュー / カウンタキー**
システムメニューやカウンタ画面を表示します。

(2) **文書ボックスキー**
文書ボックス画面を表示します。

(3) **状況確認 / ジョブ中止キー**
状況確認やジョブ中止画面を表示します。

(4) **コピーキー**
コピー画面を表示します。

(5) **アドレス帳キー**
アドレス帳画面を表示します。

(6) **再送信 / ポーズキー ***
再送信：1 ジョブ前の送信宛先を呼び出します。
ポーズ：宛先番号入力時にポーズ（?）を入力します。

(7) **宛先確認 / 宛先追加キー**
宛先の確認や宛先を追加するときに使用します。

(8) **オンフックキー ***
電話回線のオンフック・オフフックを切り替えます。

(9) **自動カラーキー**
自動カラーモードに設定します。

(10) **メッセージディスプレイ**
状態・状況を液晶表示します。

(11) **矢印キー**
メッセージディスプレイで、入力 / 選択時にカーソルおよびフォーカスを移動させます。

(12) **OK キー**
フォーカスのある項目を選んだり、入力されている数値を決定します。

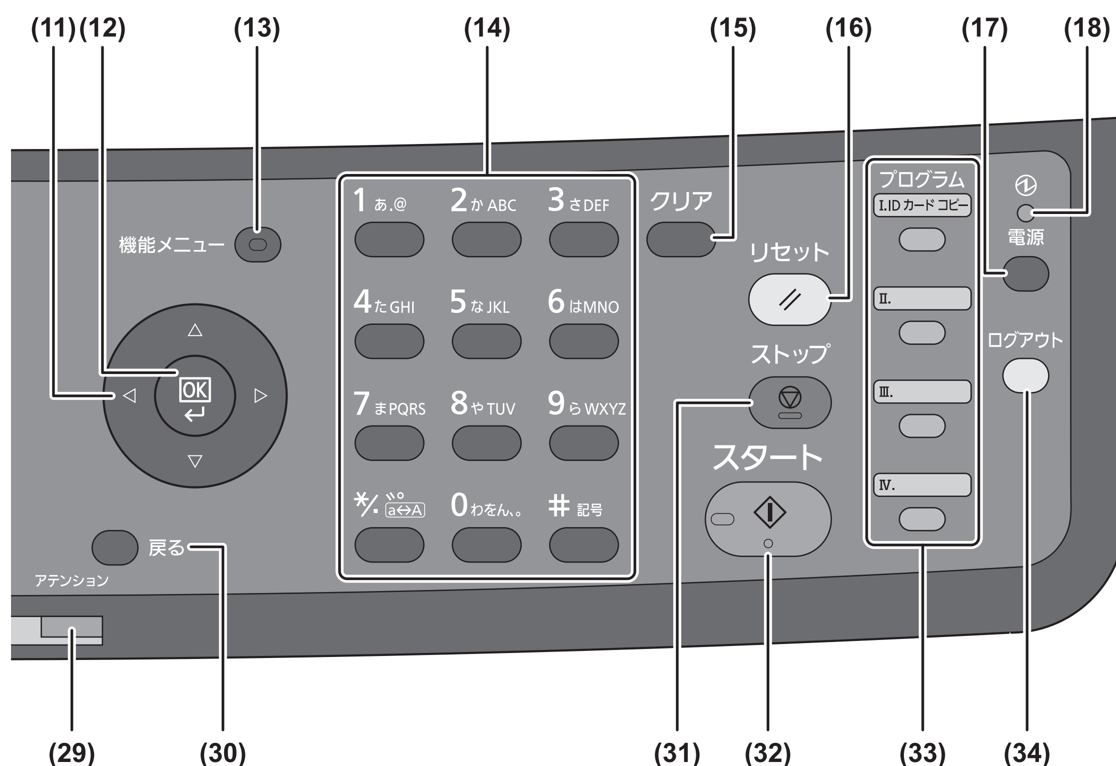
(13) **機能メニューキー**
機能設定画面を表示します。

(14) **テンキー**
数字や記号を入力します。

(15) **クリアキー**
文字や数字の入力画面で、入力値を削除します。

(16) **リセットキー**
設定をリセットし、それぞれの基本画面に戻ります。

* ファクス機能装備の製品のみ



(17) **電源キー**
本機のスリープ状態への移行 / 解除ができます。

(18) **主電源ランプ**
主電源の OFF/ON 状態を示します。

(19) **ファクスキー ***
ファクス画面を表示します。

(20) **送信キー**
送信画面を表示します。

(21) **ワンタッチキー (1 ～ 22)**
宛先を呼び出します。

(22) **シフトロックキー**
ワンタッチ宛先の 1 ～ 11 と 12 ～ 22 を切り替えます。

(23) **白黒キー**
白黒モードに設定します。

(24) **フルカラーキー**
フルカラーモードに設定します。

(25) **左セレクトキー**
メニュー操作中に液晶と連動して作動します。

(26) **右セレクトキー**
メニュー操作中に液晶と連動して作動します。

(27) **処理中ランプ**
印刷状況や送受信状況を示します。

(28) **メモリランプ**
メモリを使用していることを示します。

(29) **アテンションランプ**
エラー状況を示します。

(30) **戻るキー**
メッセージディスプレイに表示されている内容の 1 つ前の階層に戻ります。

(31) **ストップキー**
動作中の印刷ジョブを中止、または一時停止します。

(32) **スタートキー**
コピーやスキャン動作の開始、設定動作の処理を開始します。

(33) **プログラムキー**
プログラムの登録および呼び出しをします。

(34) **ログアウトキー**
管理画面の操作を終了します。

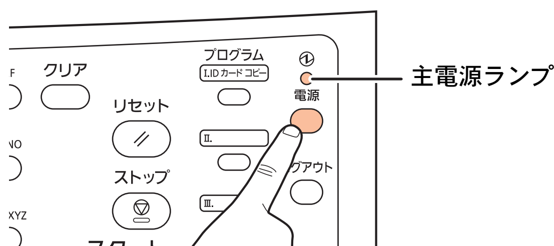
電源の入れかた / 切りかた

本機には、主電源スイッチと電源キーの 2 つの電源スイッチがあります。電源の入 / 切は、正しい手順で行ってください。

電源の入れかた

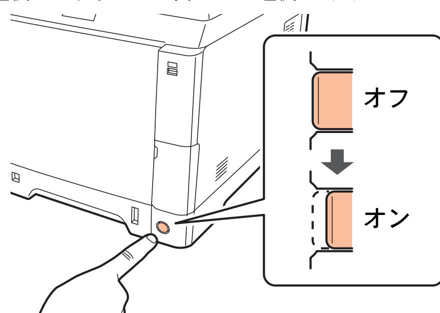
• 主電源ランプが点いている場合

（スリープモードからの復帰）
操作パネルの電源キーを押してください。



• 主電源ランプが消えている場合

主電源スイッチを押すと電源が入ります。



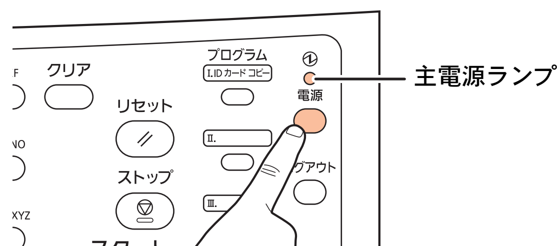
 **重要**

電源を入れ直すときは、5 秒以上あけてください。

電源の切りかた

• 主電源スイッチを切らない場合

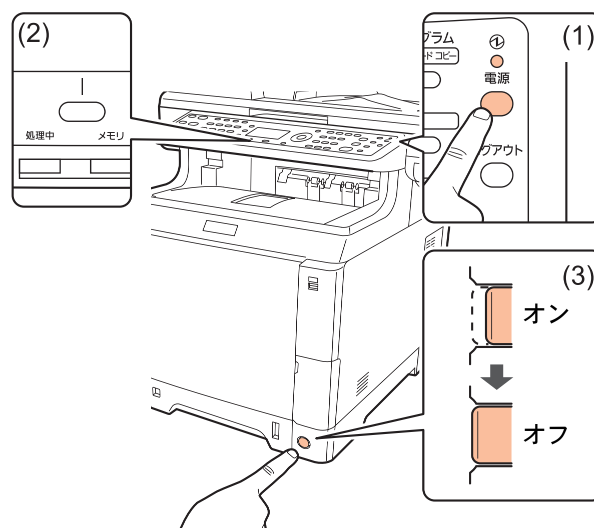
（スリープモード）
操作パネルの電源キーを押してください。



主電源ランプだけが点灯した状態になります。

• 主電源スイッチを切る場合

主電源スイッチを切ると、コンピュータからの印刷や、ファクスの自動受信ができなくなりますのでご注意ください。



(1)　先に電源キーを押してください。

(2)　処理中ランプやメモリランプが消灯していることを確認してください。

(3)　主電源スイッチを押して電源を切ってください。

注意

処理中ランプやメモリランプが点灯しているときに主電源スイッチを切ると、故障の原因となる可能性があります。

スリープモードについて

操作パネルの電源キーを押して電源を切ったときや、一定時間操作しなかったときは、主電源ランプだけが点灯し、メッセージディスプレイや他のランプは消灯して消費電力を最小に抑えます。この状態をスリープと呼びます。

• オートスリープ

オートスリープは、一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替えることができる機能です。自動で電源キーを押したときと同じ状態になるため、節電などに役立ちます。本機は、国際エネルギースタープログラムの基準を満たすため、工場出荷時は 1 分でスリープモードに移行するように設定されています。

• スリープレベル

スリープ状態のときは、スリープモードの設定内容（スリープレベル）によって動作が異なります。

• 復帰優先

スリープ中でもコンピュータからの印刷やファクスの自動受信が可能です。

• 節電優先（FS-C2016MFP のみ）

通常のスリープモードよりもさらに消費電力を抑えたモードで、ネットワーク接続時や USB ケーブル接続時など、ケース別にスリープレベルを設定できます。「ネットワーク接続時」や「USB ケーブル接続時」にこの設定を適用すると、スリープ中はコンピュータからの印刷や COMMAND CENTER へのアクセスなど、コンピュータからアクセスすることができなくなります。

ファクス機能を装備していない製品でスリープレベルを [節電優先] に設定していると、設定内容によっては復帰させるまでコンピュータからの印刷などができない場合があります。スリープレベルを変更する場合は、次の手順で行ってください。

(1) システム/カウンタメニューキーを押してください。

(2) △または▽キーを押して[共通設定]を選択し、OKキーを押してください。

(3) △または▽キーを押して[タイマー設定]を選択し、OKキーを押してください。

(4) ログイン画面が表示された場合は、ログインユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン]（右セレクトキー）を押してください。

工場出荷時に登録されている管理者のログイン情報については、13ページの「工場出荷時のログインユーザ名とパスワードについて」を参照してください。

(5) △または▽キーを押して[スリープレベル]を選択し、OKキーを押してください。

(6) △または▽キーを押して[復帰優先]または[節電優先]を選択し、OKキーを押してください。

[節電優先]を選択した場合は、個別にスリープレベルを設定してください。


ワンポイント

- ファクス機能を装備している製品はスリープレベルの設定はありません。スリープ状態のときは「復帰優先」と同じ状態になります。
- オートスリープへの移行時間を変更したい場合は、上記 (5) で [スリープ時間] を選択し、スリープ状態に入るまでの時間を変更してください。

• スリープ状態からの復帰

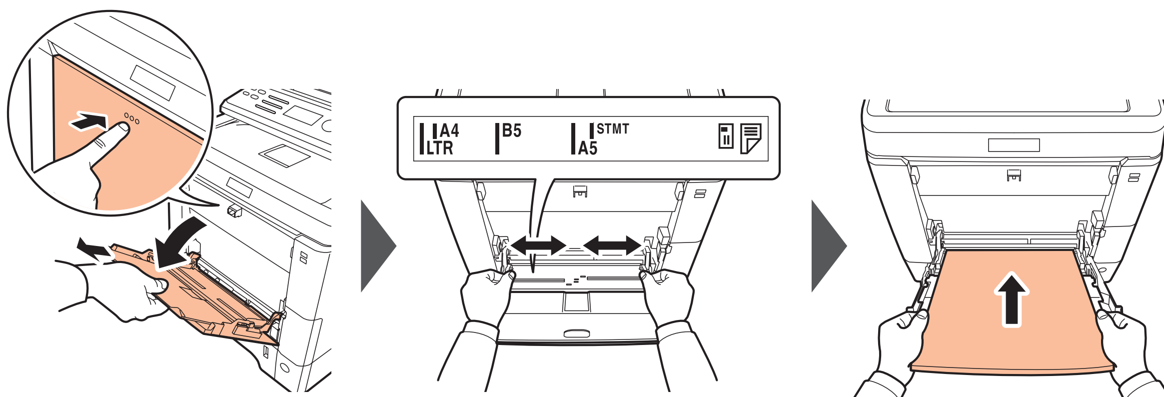
スリープ状態から復帰させる場合は、電源キーを押してください。


ワンポイント

スリープに関する詳細な設定は、使用説明書 8 章 初期設定（システムメニュー）の「日付 / タイマーの設定」を参照してください。

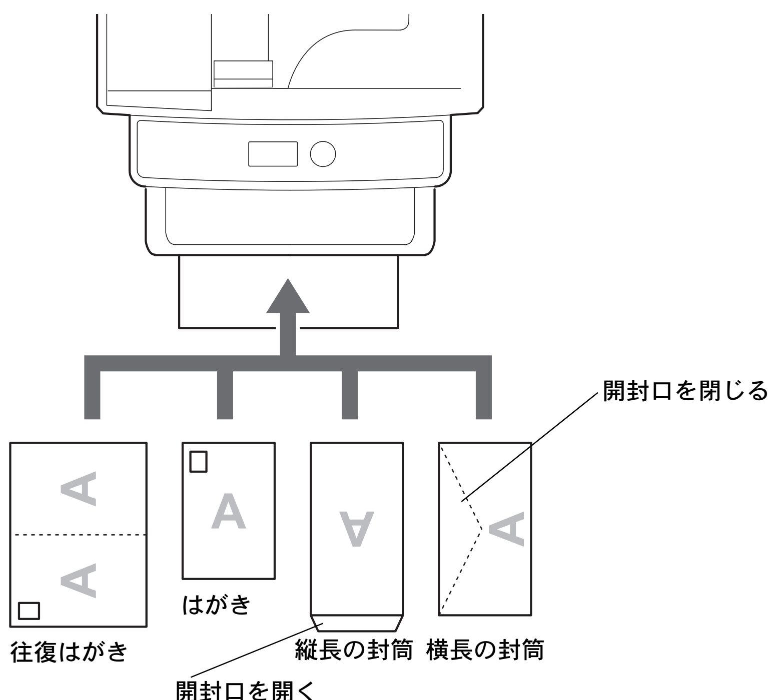
手差しトレイへの用紙のセット方法

手差しトレイに用紙をセットするときは、用紙幅ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。



• 封筒・はがきをセットするとき

印刷面を上にしてセットしてください。





ワンポイント

- 往復はがきは折られていないものをセットしてください。
- 封筒の補給のしかた（向き、裏表）は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。
- 手差しトレイにセットできる用紙の種類や設定など、詳細な手差しトレイの使用方法は、使用説明書 2 章 使用前の準備 の「手差しトレイへの補給」を参照してください。





ワンポイント

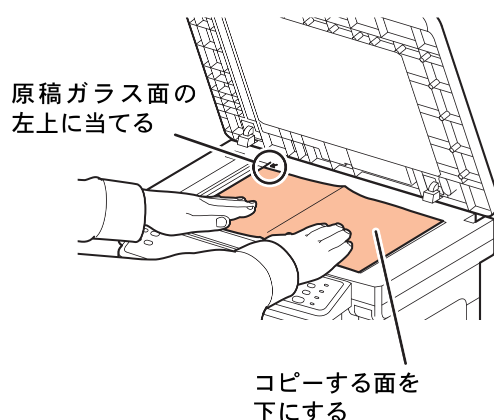
- はがきに反りがある場合は、手差しトレイにいれる前に修正してください。

原稿をセットする

セットできる原稿の種類やサイズなど、原稿セット方法の詳細は、使用説明書 2 章 使用前の準備 の「原稿のセット」を参照してください。

原稿ガラスにセットする

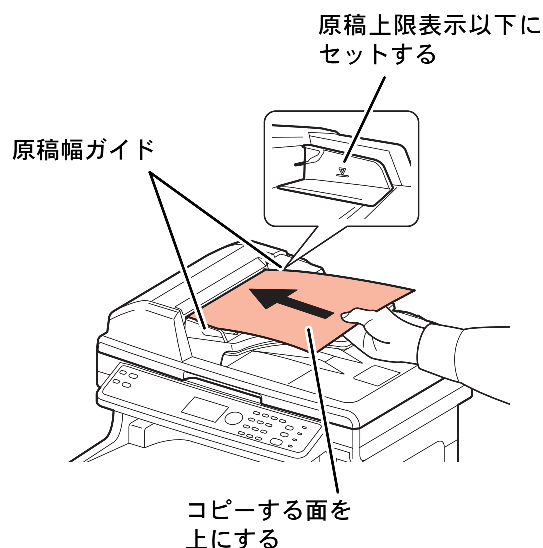
1 原稿送り装置を開けて原稿をセットしてください。



2 原稿送り装置を閉じてください。

原稿送り装置にセットする

原稿幅ガイドに合わせて、原稿をセットしてください。





ワンポイント

- 両面原稿のときは、おもて面を上にしてセットしてください。
- 原稿が正しい位置まで挿入されると、メッセージディスプレイに原稿送り装置のイメージが表示されます。

プリンタ機能を使う

付属の CD-ROM（Product Library）からプリンタドライバをインストールすると、コンピュータで作成した文書を本機でプリントすることができます。ここでは基本的な印刷のしかたを説明しています。プリンタドライバの詳細な設定方法や印刷方法については、CD-ROM に収録されているプリンタドライバ操作手順書を参照してください。

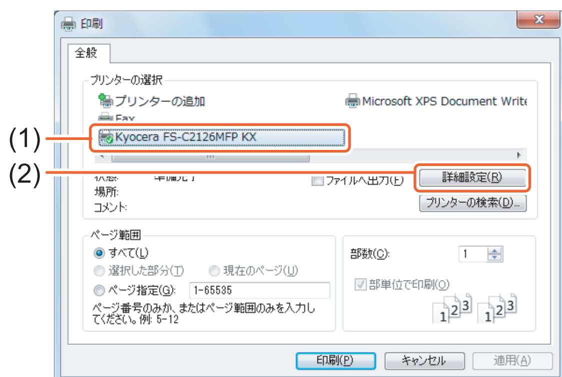
印刷のしかた

操作方法は Windows 7 で説明しています。

1 アプリケーションソフトで文書を作成し、[印刷]を選択してください。

印刷ダイアログボックスが表示されます。

2 プリンタのリストから本機を選択して印刷設定画面を表示させてください。



(1) プリンタのリストから本機のプリンタ名をクリックしてください。

(2) [詳細設定] ボタンをクリックしてください。

プリンタドライバの印刷設定画面が表示されます。

3 データのサイズと印刷する用紙のサイズを選択してください。



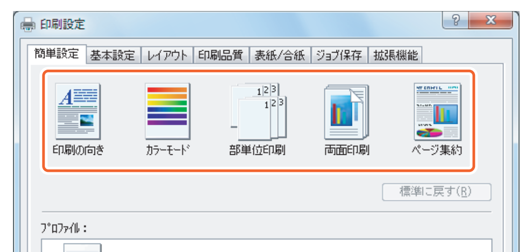
(1) [基本設定]タブをクリックしてください。

(2) [原稿サイズ]ボタンをクリックし、文書データの用紙サイズを選択してください。

(3) [出力用紙サイズ]メニューから、印刷する用紙のサイズを選択してください。

(4) それぞれのタブをクリックして必要な設定を行ってください。

詳しくは、プリンタドライバ操作手順書を参照してください。
[簡単設定]タブでは、よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。クリックするごとに印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。



(5) [OK]ボタンをクリックしてください。


ワンポイント

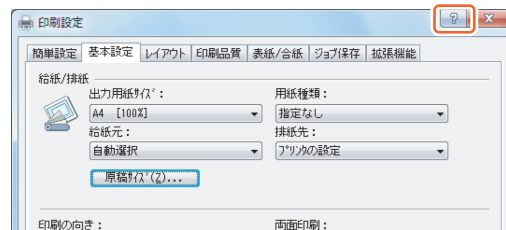
- 白黒で印刷したいときは、[基本設定] タブの「カラーモード」で [白黒] を選択してください。[エコプリント] を選択すると、全体的に薄い濃度で印刷し、トナーの消費を抑えることができます。
- **縮小 / 拡大印刷について**
  [出力用紙サイズ] で、[原稿サイズ] と異なるサイズを選択した場合は、[出力用紙サイズ] で選択したサイズに合わせて縮小 / 拡大して印刷されます。
  用紙サイズを変えずに印刷データを縮小 / 拡大したい場合は、[レイアウト] タブの「変倍」で倍率を設定してください。

4 [印刷] ボタンをクリックして印刷を開始してください。

プリンタドライバのヘルプの見かた

プリンタドライバにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタドライバの印刷設定画面を表示し、次の方法でヘルプを表示することができます。

- **設定画面右上の［?］ボタンをクリックし、続けて知りたい設定項目をクリックする。**
- **知りたい設定項目をクリックした後キーボードの［F1］キーを押す。**



はがきや封筒にプリントする

はがきや封筒に印刷するときは、手差しトレイを使って印刷します。

1 手差しトレイにはがきや封筒をセットしてください。

28ページの「手差しトレイへの用紙のセット方法」を参照してください。

2 プリンタのリストから本機を選択して印刷設定画面を表示させてください。

30ページの「印刷のしかた」を参照してください。

3 印刷設定を行ってください。



(1) [基本設定]タブをクリックしてください。

(2) [原稿サイズ]ボタンをクリックし、作成したデータの用紙サイズを選択して[OK]ボタンをクリックしてください。

選択したいサイズがリストにない場合は、[新規]ボタンをクリックして登録してください。

(3) 手差しトレイにセットしたはがきや封筒のサイズを選択してください。

通常は手順(2)で選択したサイズを選びます。

(4) [手差しトレイ]を選択してください。

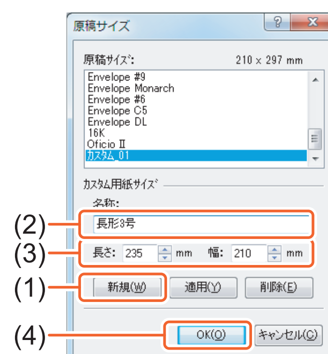
(5) [はがき]または[封筒]を選択してください。

(6) [OK]ボタンをクリックしてください。

4 [印刷] ボタンをクリックして印刷を開始してください。

• 原稿サイズの登録について

不定形の用紙や、リストにないサイズの封筒を使用したいときは、[基本設定] タブにある [原稿サイズ] ボタンをクリックして用紙サイズを登録します。登録したサイズは、[出力用紙サイズ] メニューから選択できるようになります。



(1) [新規]ボタンをクリックしてください。

(2) 用紙の名前を入力してください。

(3) 用紙サイズを入力してください。

例1）長形3号：長さ 235mm、幅 120mm
例2）長形4号：長さ 205mm、幅 90mm

(4) [OK]ボタンをクリックしてください。

印刷を中止するには

印刷を中止するときは、本機で印刷が始まっているかどうかで対処方法が異なります。

コンピュータで印刷を中止する

プリンタドライバで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行ってください。

1 Windows 画面右下のタスクバーに表示されるプリンタアイコン（）をダブルクリックしてダイアログボックスを表示してください。

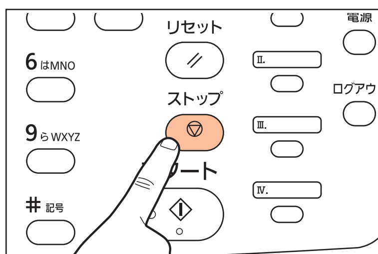
2 印刷を中止したいファイルをクリックし、[ドキュメント]メニューから[キャンセル]を選択してください。

本機での印刷を中止する

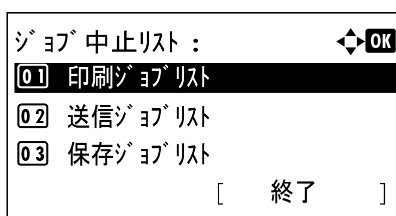
本機で印刷が始まっている場合は、操作パネルのストップキーを押して中止操作を行います。

1 印刷中に、ストップキーを押してください。

印刷が一時停止し、ジョブ中止リストが表示されます。



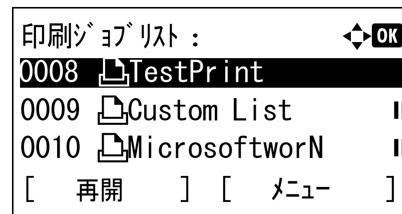
2 △または▽キーを押して[印刷ジョブリスト]を選択し、OKキーを押してください。



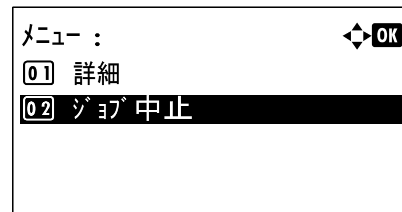
3 中止するジョブを選択してください。

(1) △または▽キーを押して中止したい印刷ジョブを選択してください。

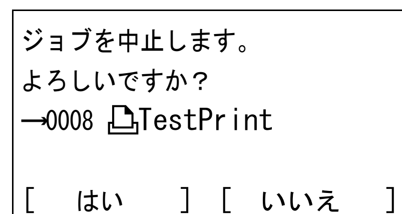
(2) [メニュー]（右セレクトキー）を押してください。



4 △または▽キーを押して[ジョブ中止]を選択し、OKキーを押してください。



5 [はい] (左セレクトキー)を押してください。

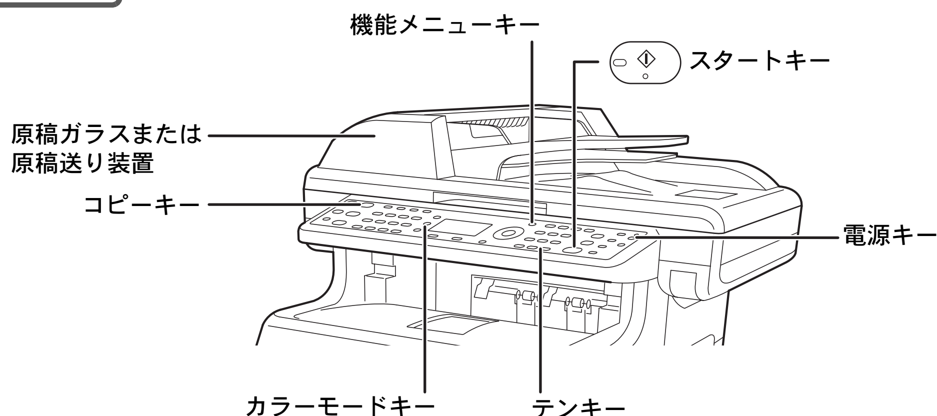


コピー機能を使う

ここでは、基本的なコピー方法や、よく使う機能を紹介しています。詳しい操作方法は、使用説明書 3 章 基本的な操作 の「コピーする」および 4 章 コピー機能 を参照してください。

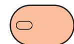
コピーの基本操作

操作するところ



1 コピーキーを押してください。

メッセージディスプレイにコピーの操作画面が表示されます。



コピーできます。
部数： 1
A4 A4
100%
[縮小拡大] [用紙]



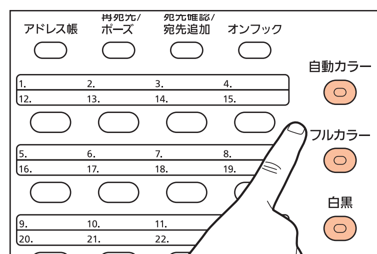
ワンポイント

メッセージディスプレイが消灯している場合、電源キーを押して本機がウォームアップするまで待ってください。

2 原稿をセットしてください。

原稿の設定方法は、29 ページの「原稿をセットする」を参照してください。

3 カラーモードを選択してください。



- 自動カラーキー：カラー原稿、白黒原稿を自動的に判別して読み込みます。
- フルカラーキー：すべての原稿をフルカラーで読み込みます。
- 白黒キー：すべての原稿を白黒で読み込みます。

4 機能メニューキーを押してコピー設定を行ってください。

縮小/拡大や濃度調整など読み込みのしかたを設定します。34ページの「コピーでよく使う機能（機能メニュー）」を参照してください。

5 テンキーを使って部数を入力してください。

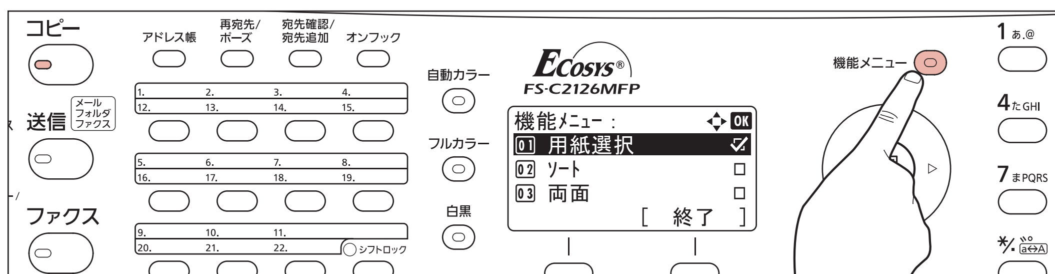
6 スタートキーを押してください。

コピーが開始されます。

コピーでよく使う機能（機能メニュー）

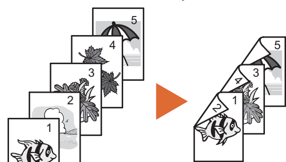
機能メニューについて

コピーモードで機能メニューキーを押すと、縮小 / 拡大や両面コピーなど、便利な機能が設定できます。



両面

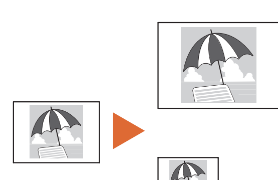
用紙の両面にコピーしたり、両面の原稿を片面にコピーしたりします。



使用説明書 3 章 基本的な操作 の「コピーする」を参照してください。

縮小 / 拡大

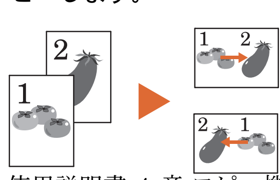
縮小または拡大してコピーします。



36 ページの「縮小または拡大してコピーする」

ページ集約

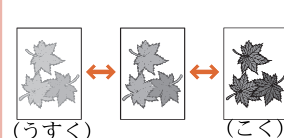
2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に集約してコピーします。



使用説明書 4 章 コピー機能 の「ページ集約」を参照してください。

濃度

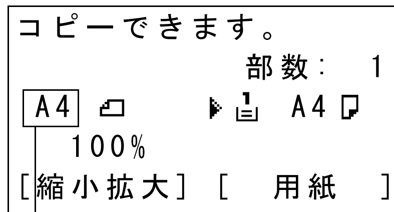
コピー濃度を調整します。



37 ページの「濃度を調整する」

原稿サイズの選択について

コピーの操作画面には、原稿サイズが表示されています。原稿ガラスまたは原稿送り装置にセットした原稿と異なるサイズが表示されている場合は、機能メニューキーを押して [原稿サイズ] を選択し、セットした原稿サイズを選択してください。
詳しくは、使用説明書 4 章 コピー機能 の「原稿用紙サイズ選択」を参照してください。



原稿サイズ

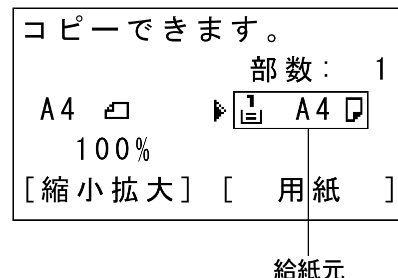


ワンポイント

免許証や保険証など、不定形サイズの原稿をコピーしたいときは、原稿サイズをあらかじめ登録しておく必要があります。不定形の原稿サイズを登録する方法は、使用説明書 8 章 初期設定（システムメニュー）の「共通設定」を参照してください。

コピーする用紙の選択について

コピーの操作画面には、コピーの給紙元（給紙カセット、用紙サイズ、用紙の向き）が表示されています。コピーしたい用紙サイズが表示されていない場合は、機能メニューキーを押して [用紙選択] を選択し、用紙がセットされた給紙カセットを選択してください。
詳しくは、使用説明書 4 章 コピー機能 の「用紙選択」を参照してください。

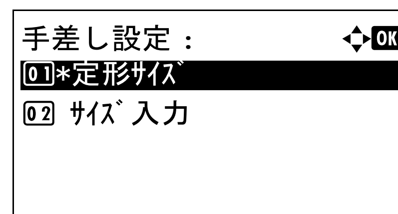


 ワンポイント

- 給紙カセットにセットした用紙サイズと用紙の種類は、あらかじめ登録しておく必要があります。使用説明書 8 章 初期設定（システムメニュー）の「共通設定」を参照してください。
- 用紙選択メニューを [自動] に設定した場合は、「原稿サイズ」で指定したサイズが自動的に選択されます。

不定形の用紙やはがき・封筒にコピーしたいときは

不定形の用紙やはがき・封筒は手差しトレイにセットします。手差しトレイに用紙をセットする方法は、28 ページの「手差しトレイへの用紙のセット方法」を参照してください。
手差しトレイにセットした用紙のサイズと種類は、「手差し設定」で入力する必要があります。機能メニューキーを押して [用紙選択] を選択し、△ または ▽ キーを押して [手差し設定] を選択してください。
設定できるサイズの範囲や用紙種類などの詳細は、使用説明書 4 章 コピー機能 の「用紙選択」を参照してください。



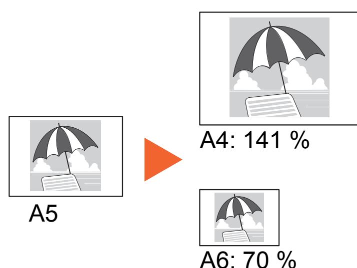
 ワンポイント

よく使用する用紙サイズと種類は、あらかじめ登録しておくと便利です。使用説明書 8 章 初期設定（システムメニュー）の「共通設定」を参照してください。

縮小または拡大してコピーする

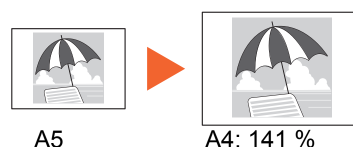
原稿を縮小または拡大してコピーすることができます。縮小 / 拡大コピーには、次の種類があります。

- **自動倍率**



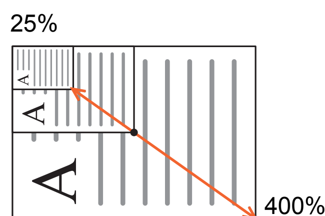
コピーする用紙サイズを選択すると、縮小または拡大倍率が自動で選択されます。

- **定形倍率**



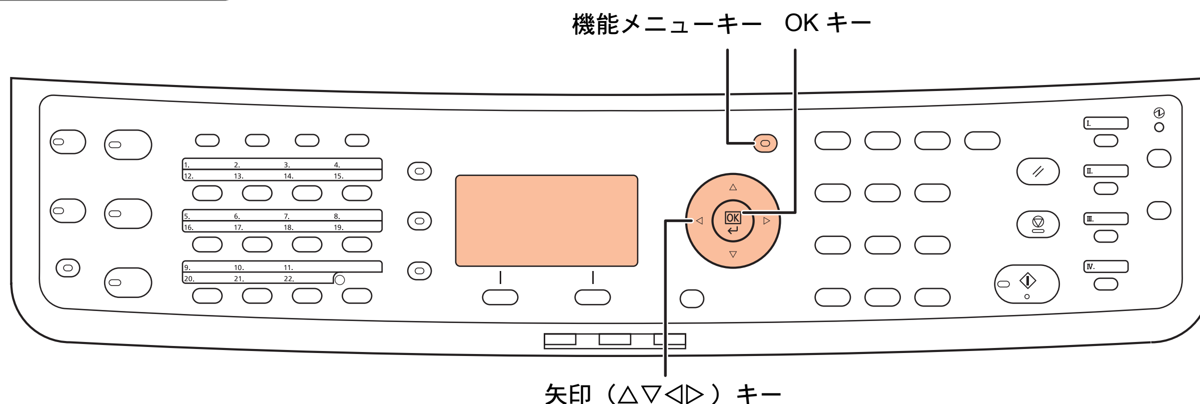
縮小または拡大する倍率を、本機に用意されている倍率から選択します。

- **倍率入力**



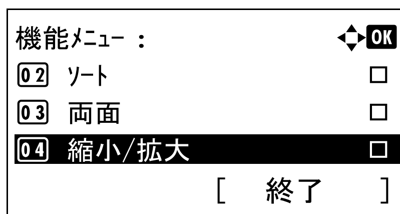
25～400％の範囲で、1％刻みに倍率を選択できます。

操作するところ



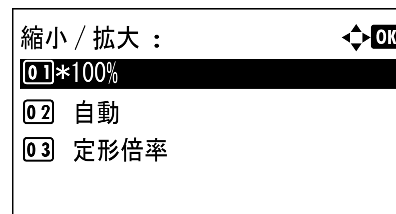
1 機能メニューキーを押してください。

2 △または▽キーを押して[縮小/拡大]を選択し、OK キーを押してください。



3 △ または ▽ キーを押して使用したい倍率の種類を選択し、OK キーを押してください。

それぞれの設定画面が表示されます。目的の倍率を選択または入力してOKキーを押してください。
詳しくは、使用説明書3章 基本的な操作 の「コピーする」を参照してください。

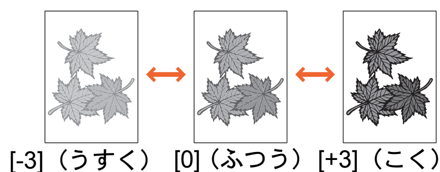



ワンポイント

原稿と同じサイズでコピーする場合は、[100%]を選択してください。

濃度を調整する

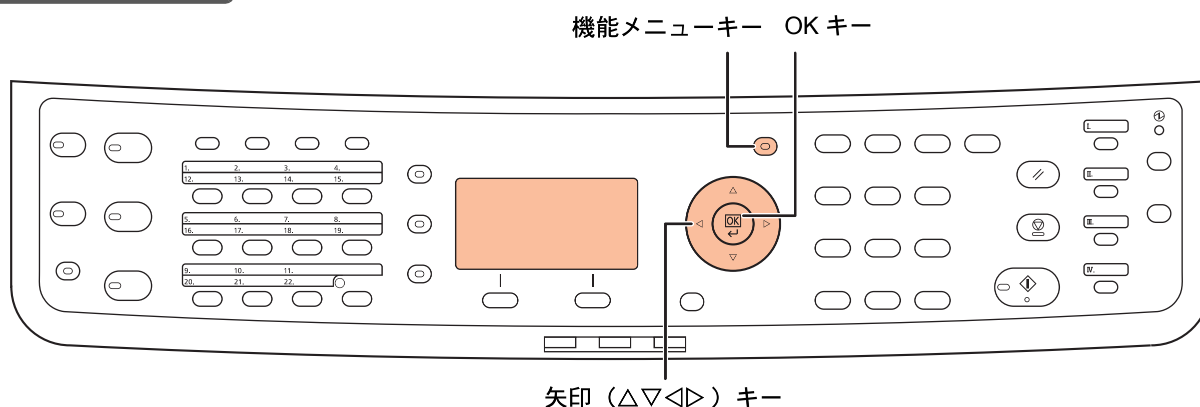
原稿読み込み時の濃度を調整します。[手動] を選択すると、濃度を 7 段階で調整できます。



[-3]（うすく） [0]（ふつう） [+3]（こく）

操作するところ

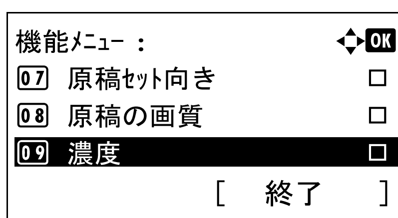
機能メニューキー　OK キー



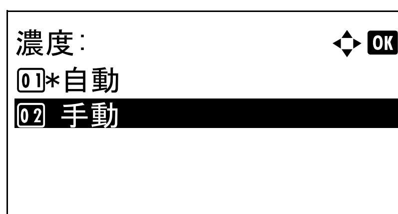
矢印（△▽◁▷）キー

1 機能メニューキーを押してください。

2 △または▽キーを押して[濃度]を選択し、OKキーを押してください。



3 △または▽キーを押して[手動]を選択し、OKキーを押してください。

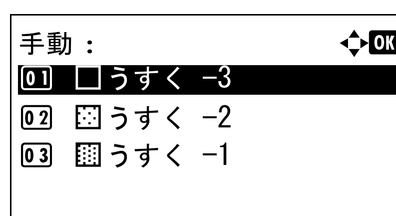




ワンポイント

カラーモードで [フルカラー] または [白黒] を選択した場合は、[手動] のみ選択できます。

4 △ または ▽ キーを押して濃度を選択し、OKキーを押してください。



送信機能を使う

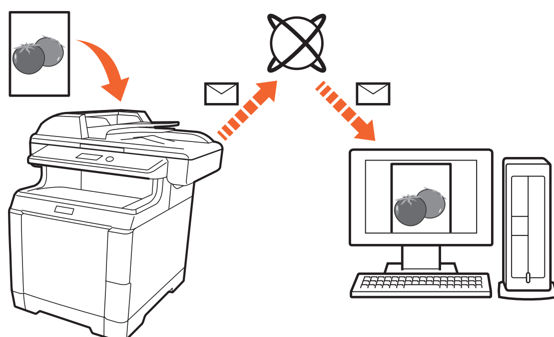
本機で読み込んだ文書をメールで送信したり、ネットワーク上のコンピュータに送信したりできます。ここでは、基本的な送信方法について説明しています。詳しくは、使用説明書 3 章 基本的な操作 の「送信する」および 5 章 送信機能 を参照してください。

送信機能を使用するための準備

送信機能には次の送信手段があります。これらを使用するためには、あらかじめネットワークに関する設定などが必要です。ネットワークへの接続および設定については、9 ページの「インタフェースケーブルの接続」を参照してください。

メールで送信する（メール送信）

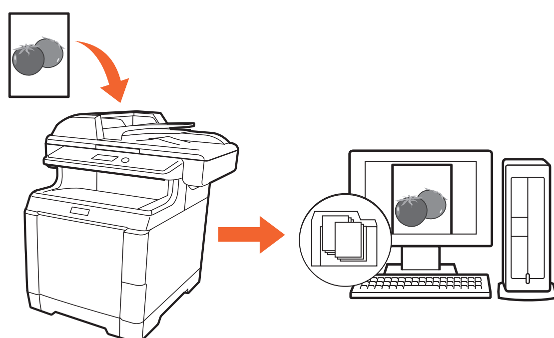
読み込んだ文書をメールに添付して送信します。



- 本機がメールサーバに接続できるネットワーク環境が必要です。本機がメールサーバにいつでも接続できる環境で使用されることをお勧めします。
- あらかじめ、COMMAND CENTER へアクセスし、メール送信に必要な設定を行ってください。詳しくは使用説明書 2 章 使用前の準備 の「COMMAND CENTER について（メール設定）」を参照してください。

共有フォルダや FTP サーバに送信する（フォルダ送信）

フォルダ（SMB）送信は、読み取った原稿のイメージを、同一ネットワークのコンピュータの共有フォルダにファイルとして保存する方法です。
フォルダ（FTP）送信は、読み取った原稿のイメージを、FTP サーバのフォルダに保存する方法です。



- SMB 送信を行うには、あらかじめコンピュータ上に共有フォルダを作成し、本機に送信先として登録する必要があります。共有フォルダの作成方法および登録方法については、使用説明書 3 章 基本的な操作 の「PC に文書を送信するための準備」を参照してください。
- COMMAND CENTER で SMB プロトコルまたは FTPがオンになっていることを確認してください。詳しくは京セラ COMMAND CENTER 操作手順書を参照してください。



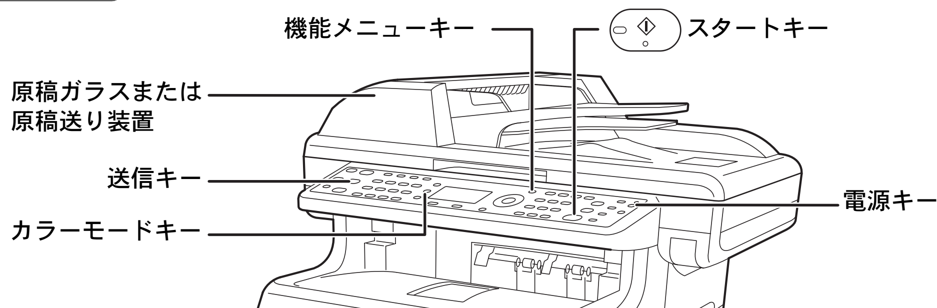
ワンポイント

TWAIN ドライバ、WIA ドライバを使用したスキャンについて

付属の CD-ROM に収録されている TWAIN ドライバや WIA ドライバを使用すると、ご使用のコンピュータからの操作で本機にセットした原稿を読み込むことができます。本機での送信操作は複数枚の原稿を同じ設定で 1 度に読み込むのに適しており、TWAIN ドライバや WIA ドライバでの操作は、写真など 1 枚の原稿を、読み込み範囲や解像度などの調整を行いながら読み込むのに適しています。詳しくは、使用説明書 3 章 基本的な操作 の「TWAIN を使った読み込み方法」を参照してください。

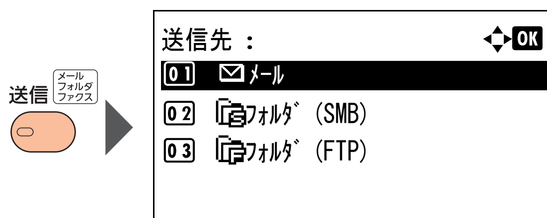
文書を送信する

操作するところ



1 送信キーを押してください。

メッセージディスプレイに送信の基本画面が表示されます。




ワンポイント

メッセージディスプレイが消灯している場合、電源キーを押して本機がウォームアップするまで待ってください。

2 原稿をセットしてください。

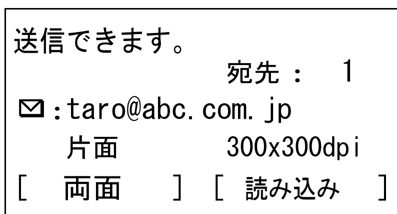
原稿の設定方法は、29 ページの「原稿をセットする」を参照してください。

3 送信方法と送信先を指定してください。

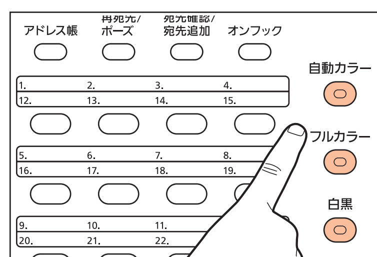
送信先の指定方法については、40ページの「送信先の指定方法」を参照してください。


ワンポイント

送信先を選択すると、メッセージディスプレイに送信の設定画面が表示されます。



4 カラーモードを選択してください。



- 自動カラーキー：カラー原稿、白黒原稿を自動的に判別して読み込みます。
- フルカラーキー：すべての原稿をフルカラーで読み込みます。
- 白黒キー：すべての原稿を白黒で読み込みます。


ワンポイント

カラーモードは、機能メニューから詳細設定が行えます。使用説明書 5 章送信機能 の「カラー / グレー / 白黒選択」を参照してください。

5 機能メニューキーを押して送信設定を行ってください。

ファイル形式や解像度など読み込みのしかたを設定します。43ページの「送信でよく使う機能（機能メニュー）」を参照してください。

6 スタートキーを押してください。

原稿の読み込みが始まり、指定した宛先に送信されます。

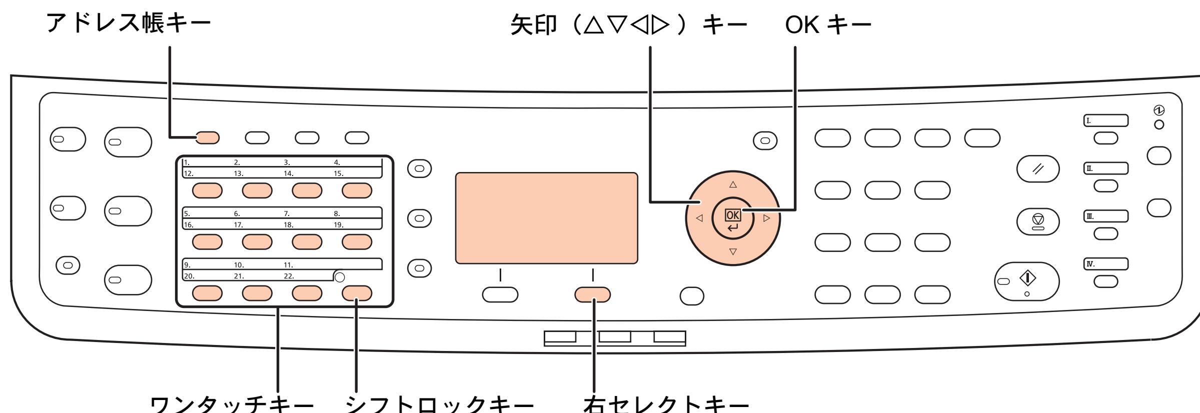

ワンポイント

スタートキーを押すと、送信操作を開始する前に宛先確認画面を表示するように設定することができます。詳しくは、使用説明書 3 章基本的な操作 の「宛先確認画面について」を参照してください。

送信先の指定方法

送信先を指定するには、アドレス帳を使う方法、ワンタッチキーを使う方法、直接入力する方法があります。メール送信の送信先アドレスを直接入力する場合は、42 ページの「新規メールアドレスを入力して送信する」を参照してください。

操作するところ



アドレス帳を使う

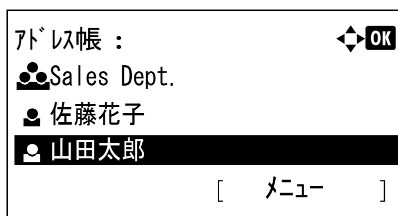
登録したアドレス帳から送信先を選択します。
アドレス帳の登録・削除方法については、使用説明書 8 章 初期設定（システムメニュー）の「宛先の編集（アドレス帳 / ワンタッチキーへの登録と編集）」を参照してください。

1 送信の基本画面（39ページ手順1）を表示させ、アドレス帳キーを押してください。

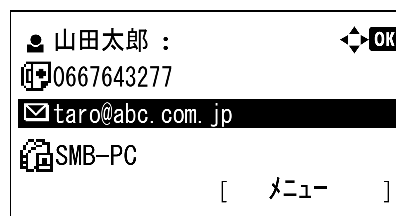
拡張アドレス帳を登録している場合は、アドレス帳キーを押した後、△または▽キーを押して[アドレス帳]（または[拡張アドレス帳]）を選択し、OKキーを押してください。

2 △ または ▽ キーを押して送信先を選択し、OKキーを押してください。

- ユーザを選択した場合、そのユーザに対して登録した宛先のリストが表示されます。
- グループを選択した場合は、宛先選択を完了して送信の設定画面が表示されます。



3 △ または ▽ キーを押して送信に使用する情報（ここではメールアドレス）を選択し、OKキーを押してください。



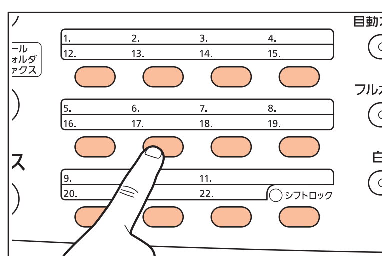

ワンポイント

- COMMAND CENTER からアドレス帳に登録すると、漢字入力ができます。詳しくは、京セラ COMMAND CENTER 操作手順書を参照してください。
- アドレス帳に登録された送り先は検索することができます。手順 2 の画面で [メニュー]（右セレクトキー）を押し、[検索（ふりがな）] を選択してください。

ワンタッチキーを使う

登録したワンタッチキーから送信先を選択します。
ワンタッチキーは、アドレス帳に登録されている送信先を割り当てて使用します。ワンタッチキーの登録・削除方法については、使用説明書 8 章初期設定（システムメニュー）の「宛先の編集（アドレス帳 / ワンタッチキーへの登録と編集）」を参照してください。

送信の基本画面（39ページ手順1）を表示させ、送信先が登録されているワンタッチキーを押してください。



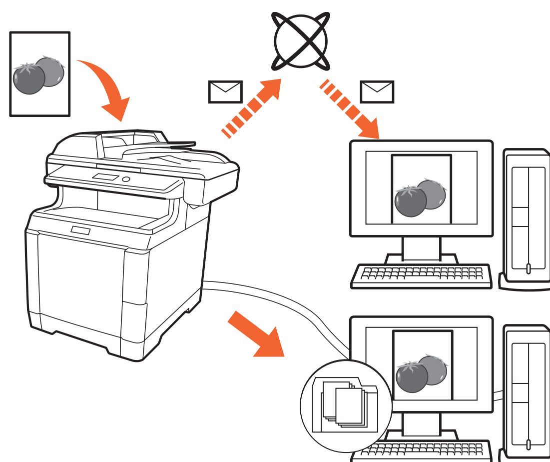


ワンポイント

ワンタッチ No. 12 ～ No. 22 を呼び出すときは、シフトロックキーを押してキーの横にあるランプを点灯させてから、送り先が登録されているワンタッチキーを押してください。

1 回の操作で種類の異なる宛先へ送信するには（マルチ送信）

送信先は、メール、フォルダ（SMB、FTP）、ファクス（ファクス機能を装備した製品のみ）を組み合わせて指定することができます。これをマルチ送信と呼びます。1 度の操作で種類の異なる宛先（メール、フォルダなど）に送信できるので、メール送信したファイルを同時にフォルダ送信して保管するなど、多彩な用途に使用できます。
操作方法は、1 種類の送信先を指定するときと同じです。メールアドレスやフォルダを続けて指定してください。スタートキーを押すと、それらの宛先にまとめて送信されます。





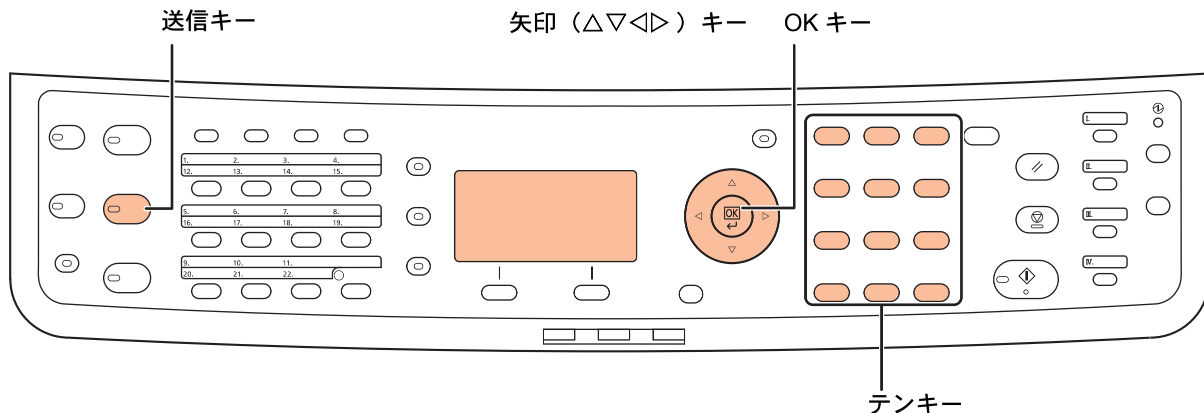
ワンポイント

マルチ送信は、最大 100 件の送信先を選択することができます。その内、フォルダ送信は SMB または FTP の送信先を 1 件指定することができます。

新規メールアドレスを入力して送信する

アドレス帳に登録していない相手先にメール送信するときは、アドレスを直接入力してください。
（フォルダ送信の送信先を直接入力する方法については使用説明書 3 章 基本的な操作 の「送信する」を参照してください。）

操作するところ



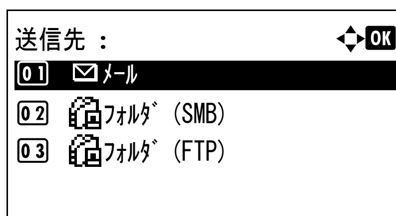
1 送信キーを押してください。

2 原稿をセットしてください。

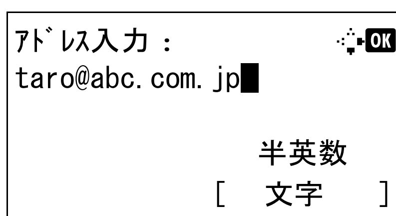
原稿の設定方法は、29 ページの「原稿をセットする」を参照してください。

3 △または▽キーを押して[メール]を選択し、OKキーを押してください。

アドレス入力画面が表示されます。



4 テンキーで送信先のメールアドレスを入力し、OKキーを押してください。





ワンポイント

文字入力のしかたは、使用説明書 付録 の「文字の入力方法」を参照してください。

5 スタートキーを押してください。

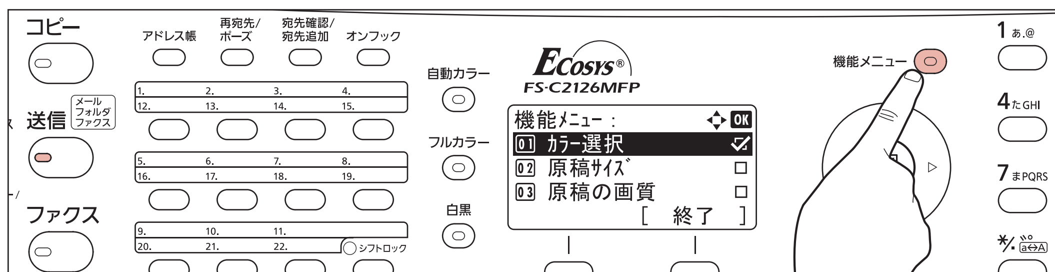
送信が開始されます。

送信できます。
宛先 : 1
:taro@abc.com.jp
片面 300x300dpi
[両面] [読み込み]

送信でよく使う機能（機能メニュー）

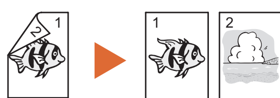
機能メニューについて

送信モードで機能メニューキーを押すと、読み込み解像度やファイル形式など、読み込み設定が行えます。



両面 / 見開き原稿

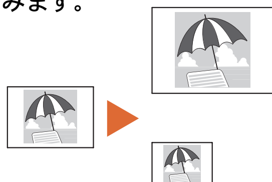
原稿の種類（片面 / 両面）を設定します。



使用説明書 5 章 送信機能の「両面送信」を参照してください。

縮小 / 拡大

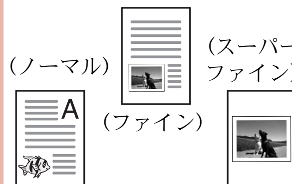
送信サイズに合わせて縮小または拡大して読み込みます。



使用説明書 5 章 送信機能の「縮小 / 拡大」を参照してください。

読み込み解像度

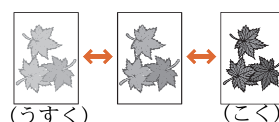
読み込む解像度を設定します。



使用説明書 5 章 送信機能の「読み込み解像度」を参照してください。

濃度

読み込む濃度を調整します。



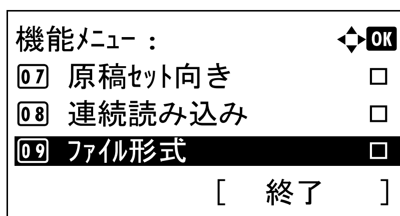
使用説明書 5 章 送信機能の「読み込み濃度」を参照してください。

ファイル形式について

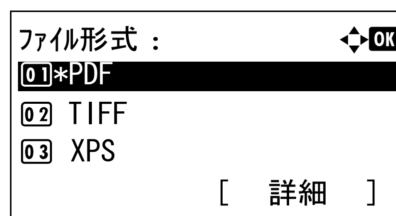
送信する画像のファイル形式は、最初 PDF に設定されています。TIFF や JPEG など、ファイル形式を変更する場合は、次の手順で行ってください。

1 送信先を選択した後、機能メニューキーを押してください。

2 △または▽キーを押して[ファイル形式]を選択し、OKキーを押してください。



3 △または▽キーを押して[PDF]、[TIFF]、[XPS]または[JPEG]を選択し、OKキーを押してください。





ワンポイント

[詳細]（右セレクトキー）を押すと、PDF の形式や、画質を選択することができます。

ファクス機能を使う

本機をファクスとして使用する際の送受信方法や便利な機能など、ファクスの基本的な操作方法について説明しています。詳しい操作方法は、FAX 使用説明書を参照してください。

ファクス機能を使用する前に

ファクス機能を使用する前に、回線種類の確認と自局情報の登録を行ってください。詳しくは、FAX 使用説明書 2 章 使用前の準備を参照してください。

回線種類を変更する

本機の回線種類は工場出荷時 [プッシュ回線] に設定されています。ご契約の回線がダイヤル回線の場合は、次の手順に従って設定を変更してください。
この選択を誤るとファクスの送信ができませんのでご注意ください。

(1) **システムメニュー / カウンタキーを押してください。**

(2) **△または▽キーを押して[ファクス]を選択し、OKキーを押してください。**

(3) **△または▽キーを押して[送信設定]を選択し、OKキーを押してください。**

(4) **△または▽キーを押して[ファクス回線設定]を選択し、OKキーを押してください。**

(5) **△または▽キーを押して契約している電話回線の種類を選択し、OKキーを押してください。**

自局情報を登録する

自局情報（自局名称・ファクス番号）を登録すると、送信先で印刷される際に一緒に印刷されます。

(1) **システムメニュー / カウンタキーを押してください。**

(2) **△または▽キーを押して[ファクス]を選択し、OKキーを押してください。**

(3) **△または▽キーを押して[送信設定]を選択し、OKキーを押してください。**

(4) **△または▽キーを押して[自局名称]を選択し、OKキーを押してください。**

(5) **テンキーを使って登録する名称を入力し、OKキーを押してください。**
32文字まで入力できます。

(6) **△または▽キーを押して[自局名称（フリガナ）]を選択し、OKキーを押してください。**

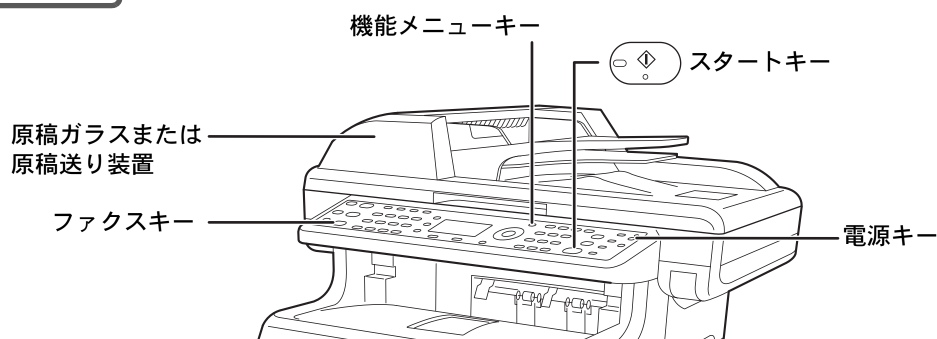
(7) **テンキーを使って登録した名称のフリガナを入力し、OKキーを押してください。**
半角カタカナおよび英数で32文字まで入力できます。

(8) **△または▽キーを押して[自局ファクス番号]を選択し、OKキーを押してください。**

(9) **テンキーを使って登録するファクス番号を入力し、OKキーを押してください。**
20桁まで入力できます。

基本的な送信のしかた

操作するところ



1 ファクスキーを押してください。

ファクス送信の基本画面が表示されます。



送信できます。
2010/01/01 12:30

文字＋写真 200x100dpi
[原稿画質] [ﾌｧｸｽ送信]



ワンポイント

メッセージディスプレイが消灯している場合、電源キーを押して本機がウォームアップするまで待ってください。

2 原稿をセットしてください。

原稿の設定方法は、29 ページの「原稿をセットする」を参照してください。

3 宛先を指定してください。

送信先の入力方法については、46 ページの「送信先の入力方法」を参照してください。

4 機能メニューキーを押して原稿の読み込み設定を行ってください。

読み込み設定については、49 ページの「ファクスでよく使う機能（機能メニュー）」を参照してください。

5 スタートキーを押してください。

読み込んだ文書が、指定した宛先に送信されます。



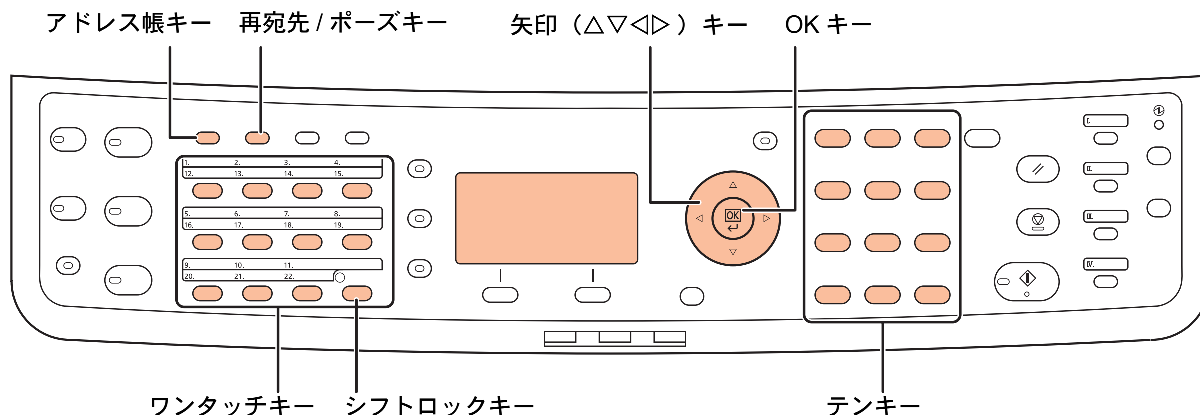
ワンポイント

ファクスの送信には、「メモリ送信」と「ダイレクト送信」の 2 つの方法があります。上記はメモリ送信の方法で、本機の一般的な送信のしかたです。詳しくは、ファクス使用説明書を参照してください。

送信先の入力方法

宛先を指定するには、テンキーを使って入力する方法、ワンタッチキーを使う方法、アドレス帳を使う方法があります。

操作するところ

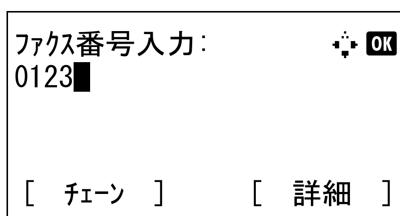


ファクス番号の入力

ファクスの宛先を、直接入力します。
テンキーで番号を押すとファクス番号の入力画面に替わります。

送信の基本画面（45ページ手順1）を表示させ、テンキーを使って相手先のファクス番号を入力してください。

（45ページ手順1）





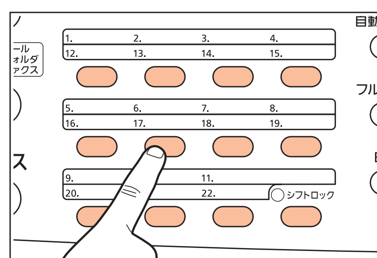
ワンポイント

- ◁または▷キーを押すと、カーソルが移動します。番号を訂正するときは、クリアキーを押して 1 文字ずつ削除し、入力し直してください。
- 再宛先 / ポーズキーを押すとダイヤル時に約 3 秒の待ち時間が挿入されます。たとえば、0 発信（構内交換機を使用して内線から外線への発信）するときや、情報サービスを受けるときなどのダイヤル待ち時間の挿入に使用します。

ワンタッチキーを使う

登録したワンタッチキーからファクスの宛先を選択します。
ワンタッチキーは、アドレス帳に登録されている宛先を割り当てて使用します。ワンタッチキーの登録・削除方法については、FAX 使用説明書 3 章 ファクスの操作方法（基本編）の「ワンタッチキーを使う」を参照してください。

送信の基本画面（45 ページ手順 1）を表示させ、送り先が登録されているワンタッチキーを押してください。





ワンポイント

ワンタッチ No. 12 〜 No. 22 を呼び出すときは、シフトロックキーを押してキーの横にあるランプを点灯させてから、送り先が登録されているワンタッチキーを押してください。

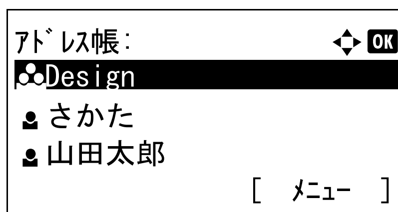
アドレス帳を使う

登録したアドレス帳からファクスの宛先を選択します。

1 送信の基本画面（45ページ手順1）を表示させ、アドレス帳キーを押してください。

拡張アドレス帳を登録している場合は、アドレス帳キーを押した後、△または▽キーを押して[アドレス帳]（または[拡張アドレス帳]）を選択し、OKキーを押してください。

2 △ または ▽ キーを押して送信先を選択し、OKキーを押してください。



• アドレス帳の登録方法（個人登録）

(1) システムメニュー / カウンタキーを押してください。

(2) △または▽キーを押して[宛先編集]を選択し、OKキーを押してください。

(3) △または▽キーを押して[アドレス帳]を選択し、OKキーを押してください。

(4) [メニュー]（右セレクトキー）を押してください。

(5) △ または ▽ キーを押して [アドレス追加] を選択し、OKキーを押してください。

(6) △ または ▽ キーを押して [個人] を選択し、OKキーを押してください。

(7) ◁または▷キーを押して[個人名]を選択し、[編集]（右セレクトキー）を押してください。
テンキーを使ってアドレス帳に表示される宛先名を入力し、OKキーを押してください。
32文字まで入力できます。

(8) ◁または▷キーを押して[ふりがな]を選択し、[編集]（右セレクトキー）を押してください。
テンキーを使って宛先名のフリガナを入力し、OKキーを押してください。
半角カタカナおよび英数で32文字まで入力できます。

(9) ◁ または ▷ キーを押して [ファクス番号] を選択し、[編集]（右セレクトキー）を押してください。
テンキーを使って相手先のファクス番号を入力し、OKキーを押してください。
32桁まで入力できます。

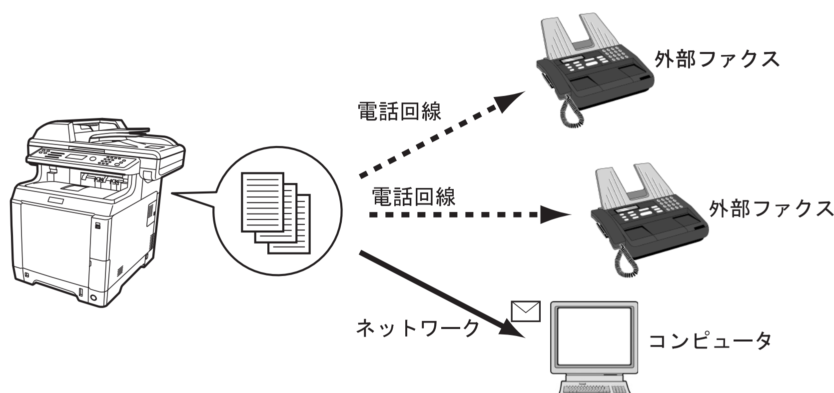
(10) ◁または▷キーを押して宛先が正しく設定できているか確認し、OKキーを押してください。
アドレス帳に宛先が追加されます。


ワンポイント

- 個人登録は 100 件まで登録できます。
- (9) で [詳細]（右セレクトキー）を押すと、F コード、暗号化、送信開始速度、ECM の設定が行えます。詳しい操作方法については、FAX 使用説明書 3 章 ファクスの操作方法（基本編）の「アドレス帳を使う」を参照してください。
- COMMAND CENTER からアドレス帳に登録すると、漢字入力ができます。詳しくは、京セラ COMMAND CENTER 操作手順書を参照してください。

同報送信する

1 回の操作で同じ原稿を複数の宛先に送ることができます。
詳しくは、FAX 使用説明書 4 章 ファクスの操作方法（応用編）の「1 回の操作でたくさんの相手先に送信する【順次同報送信】」を参照してください。




ワンポイント

最大 100 件の宛先に同報送信することができます。また、メールやフォルダ送信の送信先を組み合わせて送信することができます。41 ページの「1 回の操作で種類の異なる宛先へ送信するには（マルチ送信）」を参照してください。

グループ登録について

アドレス帳に登録した複数の宛先をまとめてグループとして登録しておくと、宛先を一度に指定できるので同報送信を行うときに便利です。

• グループ登録の方法

グループには、アドレス帳に登録された相手先のみ登録できます。

(1) 47ページの「アドレス帳の登録方法（個人登録）」の手順(1)～(5)の操作を行ってください。

(2) △または▽キーを押して[グループ]を選択し、OKキーを押してください。

(3) ◁または▷キーを押して[グループ名]を選択し、[編集]（右セレクトキー）を押してください。

テンキーを使ってアドレス帳に表示されるグループ名を入力し、OKキーを押してください。
32文字まで入力できます。

(4) ◁または▷キーを押して[ふりがな]を選択し、[編集]（右セレクトキー）を押してください。

テンキーを使ってグループ名のフリガナを入力し、OKキーを押してください。
半角カタカナおよび英数で32文字まで入力できます。

(5) ◁ または ▷ キーを押して [グループメンバー]を選択し、[編集]（右セレクトキー）を押してください。

(6) [メニュー]（右セレクトキー）を押してください。

(7) △または▽キーを押して[宛先追加]を選択し、OKキーを押してください。

(8) △ または ▽ キーを押してグループに追加する宛先（個人）を選択し、OKキーを押してください。

(9) [メニュー]（右セレクトキー）を押してください。

(10) △または▽キーを押して[選択]を選択し、OKキーを押してください。

(11) 手順 (6) ～ (10) を繰り返して宛先を追加してください。

(12) 戻るキーを押してください。

(13) ◁または▷キーを押してグループが正しく設定できているか確認し、OKキーを押してください。

アドレス帳にグループが追加されます。


ワンポイント

- グループは 20 件まで登録できます。
- 詳しい登録方法については、FAX 使用説明書 3 章 ファクスの操作方法（基本編）の「アドレス帳を使う」を参照してください。

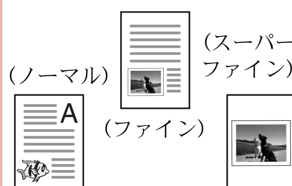
ファクスでよく使う機能（機能メニュー）

ファクスモードで機能メニューキーを押すと、画質や濃度などの読み込み設定が行えます。



ファクス解像度

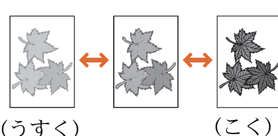
ファクス送信の解像度を設定します。



50 ページの「解像度を設定する」

濃度

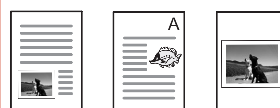
読み込む濃度を調整します。



51 ページの「読み込む濃度を調整する」

原稿の画質

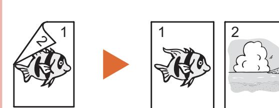
送信サイズに合わせて画質を設定します。



51 ページの「原稿に合わせて画質を選択する」

両面 / 見開き原稿

原稿の種類（片面 / 両面）を設定します。



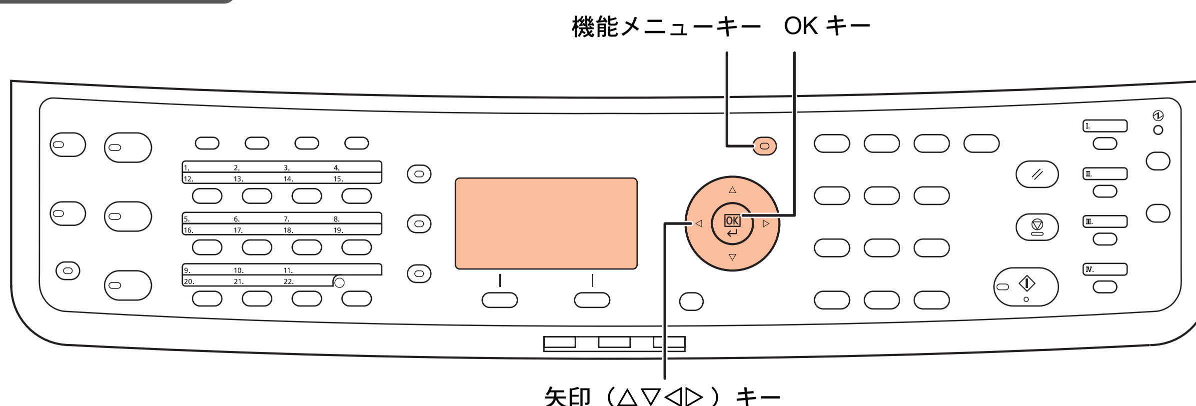
使用説明書 5 章 送信機能の「両面送信」を参照してください。

解像度を設定する

原稿の種類に応じて解像度を設定することができます。解像度を高くすると、画像をより鮮明に送信することができます。

解像度	説明
200 × 100 dpi（ノーマル）	普通の大きさの文字の原稿を送るとき
200 × 200 dpi（ファイン）	比較的小さい文字や細い線のある原稿を送るとき
200 × 400 dpi（スーパーファイン）	微細な文字や線のある原稿を送るとき
400 × 400 dpi（ウルトラファイン）	微細な文字や線のある原稿をさらにきれいに送るとき

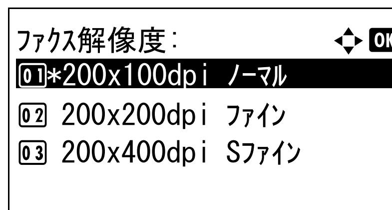
操作するところ



1 機能メニューキーを押してください。

2 △または▽キーを押して[ファクス解像度]を選択し、OKキーを押してください。

3 △ または ▽ キーを押して解像度を選択し、OKキーを押してください。



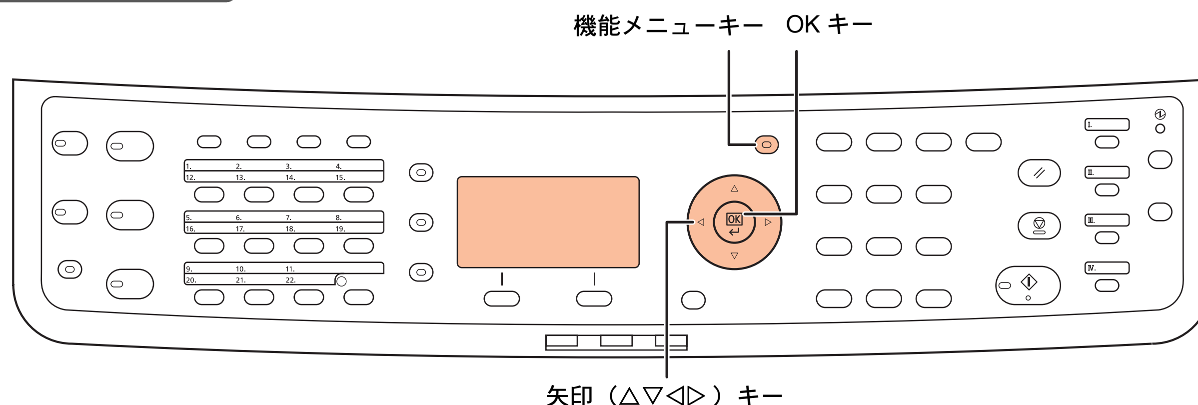
 ワンポイント

- 細かく読み込む（数値が大きい）ほど画質は良くなりますが、ファイルサイズ（ファイル容量）が大きくなり、読み込み時間と送信時間が長くなります。
- 200 × 400 dpi（スーパーファイン）以上で送信する場合、相手先のファクスもそれらの解像度で受信 / 印刷できる必要があります。相手先のファクスが設定した解像度に対応していない場合は、200 × 200 dpi（ファイン）の画質で送信されます。

読み込む濃度を調整する

原稿読み込み時の濃度を調整します。
手動：濃度を 7 段階に調整できます。
自動：原稿の濃度に応じて適切な濃度になります。

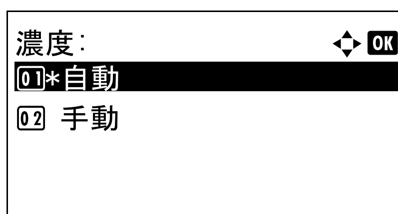
操作するところ



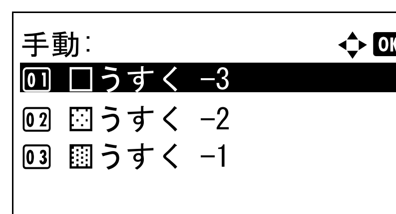
1 機能メニューキーを押してください。

2 △または▽キーを押して[濃度]を選択し、OKキーを押してください。

3 △または▽キーを押して[自動]または[手動]を選択し、OKキーを押してください。



4 [手動]を選んだ場合は、△または▽キーを押して濃度を選択し、OKキーを押してください。



原稿に合わせて画質を選択する

原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。
画質の設定方法は、ファクス使用説明書 4 章 ファクスの操作方法（応用編）の「その他の便利な機能」を参照してください。

項目	説明
文字＋写真	文字と写真が混在する原稿の場合。
文字	えんぴつ書きの文字や細線をくっきりと再現する場合。
写真	写真原稿の立体感を出す場合。
OCR 用 *	OCR アプリケーションソフト（文字をテキストデータに変換するソフトウェア）での読み込みに適した画質にする場合。

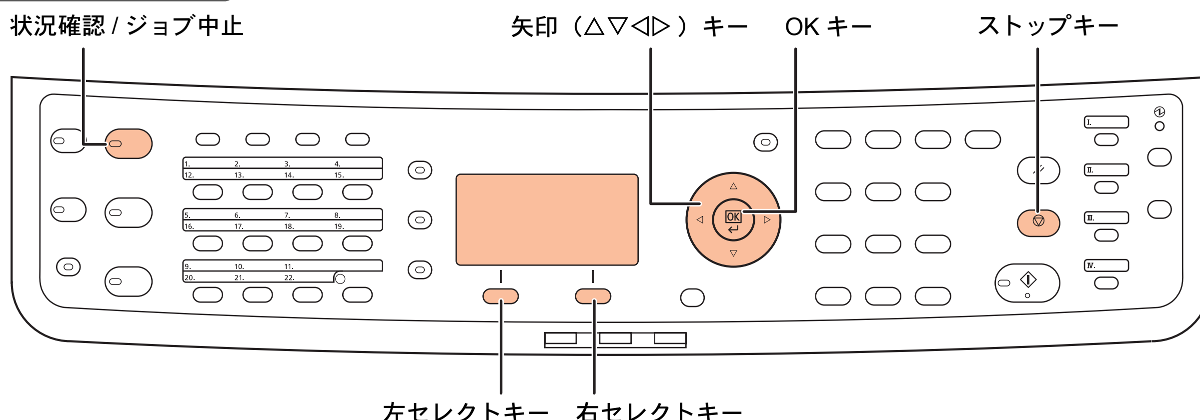
＊ ファクスの送信時は、[文字] に変更されます。


ワンポイント
送信側で画質を [文字 + 写真]、[文字]、[写真]、[OCR 用] に設定しても、相手先のファクスの機種によって画質が低下することがあります。

送信の中止方法

本機で通信を中止する方法は、送信方法（メモリ送信またはダイレクト送信）や通信形態によって異なります。ここでは、さまざまなケースでの中止方法を説明します。

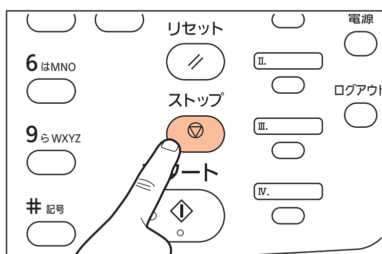
操作するところ



メモリ送信の場合

• **原稿読み込み時**

メモリ送信で、原稿の読み込みを中止するには、操作パネルのストップキーを押してください。原稿の読み込みを中止し、原稿を排出します。



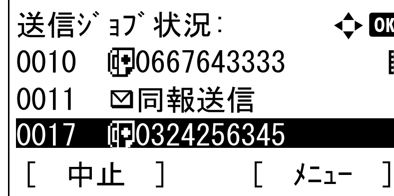
• **通信中の場合**

メモリ送信で、原稿の読み込みが終了して通信が開始される前に中止するには、次の手順で行ってください。

1 状況確認/ジョブ中止キーを押してください。

2 △または▽キーを押して[送信ジョブ状況]を選択し、OKキーを押してください。

3 △ または ▽ キーを押して中止したいジョブを選択してください。



4 [中止]（左セレクトキー）を押してください。

5 [はい]（左セレクトキー）を押してください。

通信が中止されます。

タイマー送信の中止と即時送信

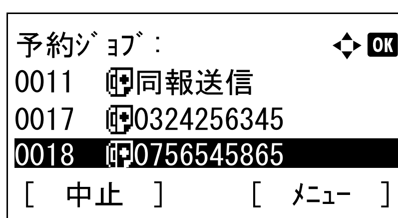
タイマー送信で待機中のジョブを中止するには、次の手順で行ってください。また、指定時刻を待たずに今すぐ送信することもできます。

1 状況確認/ジョブ中止キーを押してください。

2 △または▽キーを押して[予約ジョブ]を選択し、OKキーを押してください。

3 △ または ▽ キーを押して中止したいジョブを選択してください。

即時送信するときは、送信したいジョブを選択してください。



4 [メニュー]（右セレクトキー）を押してください。

5 中止するときは△または▽キーを押して[ジョブ中止]を選択し、OKキーを押してください。

即時送信するときは、[今すぐ開始]を選択してOKキーを押してください。

6 [はい]（左セレクトキー）を押してください。

通信が中止されます。即時送信するときは通信を開始します。

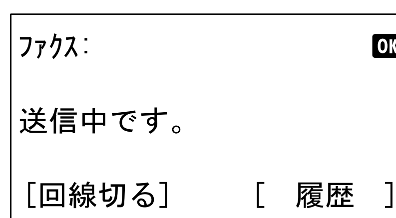
送 / 受信の中止

通信中の回線を切って、送信または受信を中止するときは、次の手順で行ってください。

1 状況確認/ジョブ中止キーを押してください。

2 △または▽キーを押して[ファクス]を選択し、OKキーを押してください。

3 [回線切る]（左セレクトキー）を押してください。

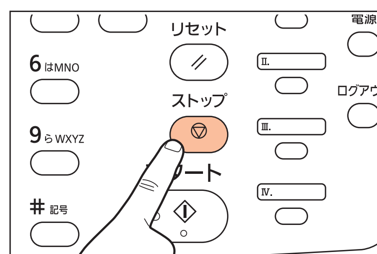


4 [はい]（左セレクトキー）を押してください。

通信が中止されます。

ダイレクト送信の中止

ダイレクト送信で、送信中（原稿読み込み中）に中止するときは、操作パネルのストップキーを押してください。読み込み中の原稿を排出し、送信の初期画面に戻ります。




ワンポイント

ストップキーを押すと回線が切断されます。ファクスを送り直すときは再度送信操作を行ってください。

ファクスの受信

本機の受信方法には次の 4 種類があります。本機の使用状況に合わせて切り替えてください。

条件	受信方法	説明
通常	ファクス専用自動受信 [自動（普通）]	本機で電話を受けずにファクス専用として使用する場合は、ファクス専用自動受信にしてください。受信時は、特に操作する必要はありません。
本機に電話機（市販品）を接続	ファクス / 電話自動切替受信 [自動（ファクス / 電話）]	ファクス原稿が送られてくると自動的に受信し、相手先が電話のときは本機で呼び出し音が鳴り、応答を促します。(55 ページの「外部電話機を使用する」参照)
本機に留守番機能付き電話機（市販品）を接続	ファクス / 留守番電話自動切替受信 [自動（留守番電話）]	ファクス原稿が送られてくると自動的に受信し、相手先が電話のときは接続された留守番電話機の機能にしたがうため、不在の場合には相手先からのメッセージを留守番電話に残すことができます。(55 ページの「外部電話機を使用する」参照)
通常 （電話機（市販品）の接続を推奨）	手動受信 [手動]	相手先との回線がつながったことを確認した後、［手動受信］を押して受信する方法です。 本機に電話機（市販品）を接続すれば、相手と話した後に原稿を受信することができます。

受信方法の変更

ファクスの受信方法の確認と変更のしかたについては、FAX 使用説明書 3 章 ファクスの操作方法（基本編）の「自動受信する（ファクス専用自動受信）」または 4 章 ファクスの操作方法（応用編）の「送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】」を参照してください。

出力用紙を限定する

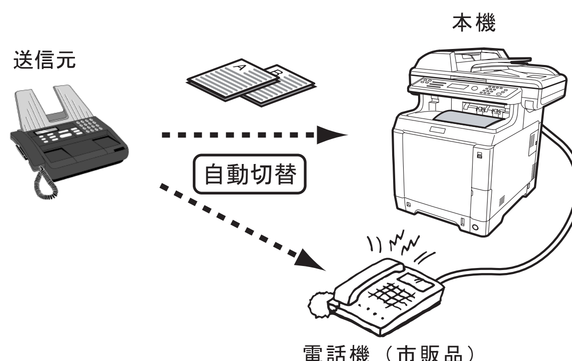
ファクス受信に使用する用紙の種類を指定することで、印刷に使用する給紙カセットや用紙サイズを限定することが可能になります。オプションのペーパーフィーダを装備しているときなど、特定のカセットにセットした用紙で受信したファクスを印刷したい場合に便利です。
FAX 使用説明書 6 章 各種設定と登録 の「使用する用紙の種類を限定する【受信用紙種類】」を参照して用紙種類を指定し、「原稿 / 用紙設定」で使用するカセットに用紙種類を適用してください。

外部電話機を使用する

本機に外部電話機（市販品）を接続すると、ファクスと電話の自動切替受信やファクス / 留守番電話自動切替受信、リモート切替機能を行うことができます。

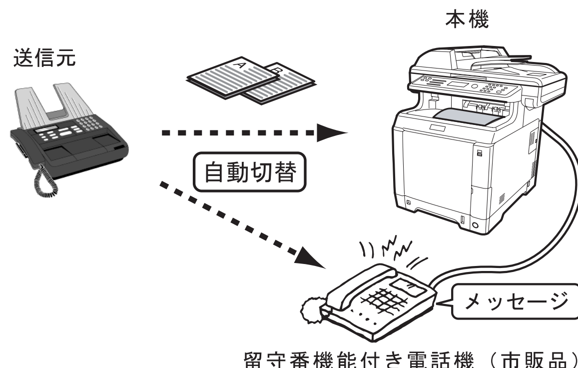
- **ファクス / 電話自動切替受信**

  本機に電話機を接続した場合に設定します。
  設定方法や受信方法については、FAX 使用説明書 6 章　各種設定と登録 の「ファクスと電話を自動で切り替える【ファクス / 電話自動切替受信】」を参照してください。



- **ファクス / 留守番電話自動切替受信**

  本機に接続した電話機に留守番電話の機能がある場合に設定します。
  設定方法や受信方法については、FAX 使用説明書 6 章　各種設定と登録 の「ファクスと留守番電話を自動で切り替える【ファクス / 留守番電話自動切替受信】」を参照してください。



- **リモート切替機能**

  接続された電話機からの操作で、ファクスの受信を開始させることができます。本機と電話機（市販品）を離れた場所に設置して併用するときに便利な機能です。
  設定方法や受信方法については、FAX 使用説明書 4 章　ファクスの操作方法（応用編）の「電話機を操作して受信させる【リモート切替機能】」を参照してください。

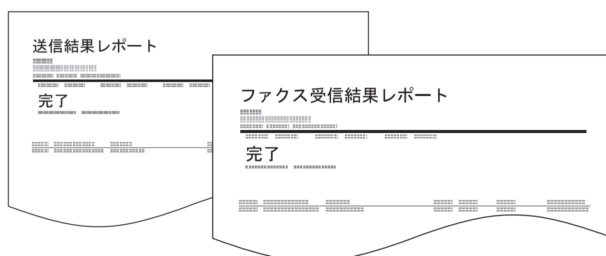


便利な設定について

ここでは通信レポートやエラーレポートの印刷、音量調整、ファクス送 / 受信を制限する方法について説明しています。

レポートの印刷

レポートを印刷することで、通信結果やファクス機能の設定状況などを確認することができます。
印刷の設定方法や印刷のしかたについては、FAX 使用説明書 5 章 通信結果や登録した内容の確認 の「管理レポートを印刷する」を参照してください。



- **送信結果レポート**
  送信するごとにレポートを印刷させて、正常に送信されたかを確認することができます。また、送信結果レポートに送信した画像を印刷できます。
- **受信結果レポート**
  受信するごとにレポートを印刷させて、正常に受信できたかを確認することができます。なお、受信結果レポートの代わりに、受信をメールで通知するように設定することもできます。
- **送信前に中止されたジョブのレポート**
  送信を開始する前にジョブを中止したときに、送信結果レポートを印刷します。
- **通信管理レポート**
  最近の発信または着信50件の情報をレポートにして印刷します。
- **ステータスページ**
  ステータスページには、ユーザが本機に設定したさまざまな項目が記載されています。必要に応じて印刷してください。

送信、受信完了音を調整する

本機のモニタ音、スピーカ音のボリュームを調整できます。
- スピーカ音量 : オンフックキーを押して電話回線を接続したときに、内蔵スピーカから聞こえる音量です。
- モニタ音量 : メモリ送信などでオンフックキーを押さずに電話回線を接続したときに、内蔵スピーカから聞こえる音量です。

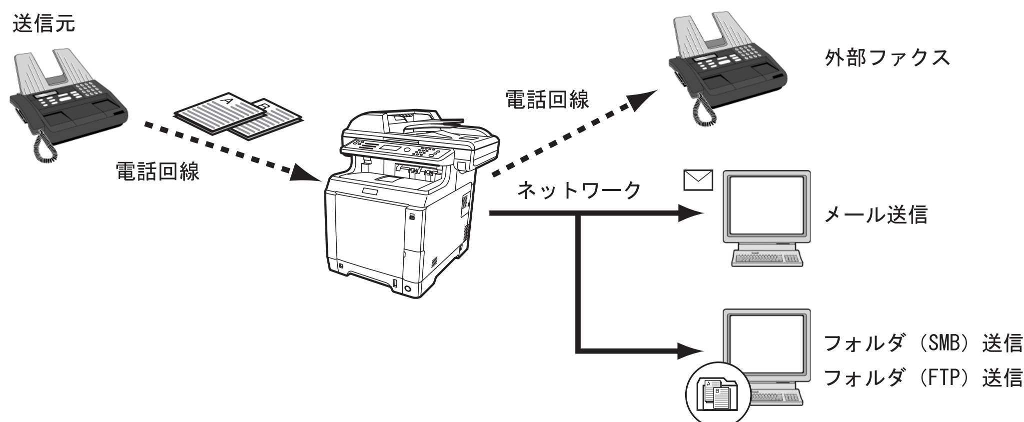
音量の設定方法については、FAX 使用説明書 6 章各種設定と登録 の「スピーカの音量を調整する【音量調整】」を参照してください。

送 / 受信を制限する

あらかじめ通信条件（許可ファクス番号 / 許可 ID 番号 / 拒否ファクス番号）を設定しておくと、通信条件を満たすときだけ送 / 受信が可能になるため、通信する相手先を限定することができます。
設定方法の詳細については、FAX 使用説明書 6 章 各種設定と登録 の「通信する相手先を限定する【送受信制限】」を参照してください。

受信ファクス原稿を転送する

メモリ転送機能を使用することで、受信した原稿を他のファクスやコンピュータに転送することができます。
休日や外出など本機から離れた場所にいる場合や、トナー切れや用紙切れの場合に設定すると便利です。
転送の設定方法は、FAX 使用説明書 4 章 ファクスの操作方法（応用編）の「受信した文書を印刷 / 転送する【メモリ転送】」を参照してください。



- **受信ファクス原稿を別の場所（本社 / 自宅など）に転送する**
  外出時や帰宅時に転送設定を行っておくと、会社に届いた FAX（本機で受信）を本社 / 自宅の FAX（転送先）に転送することができます。

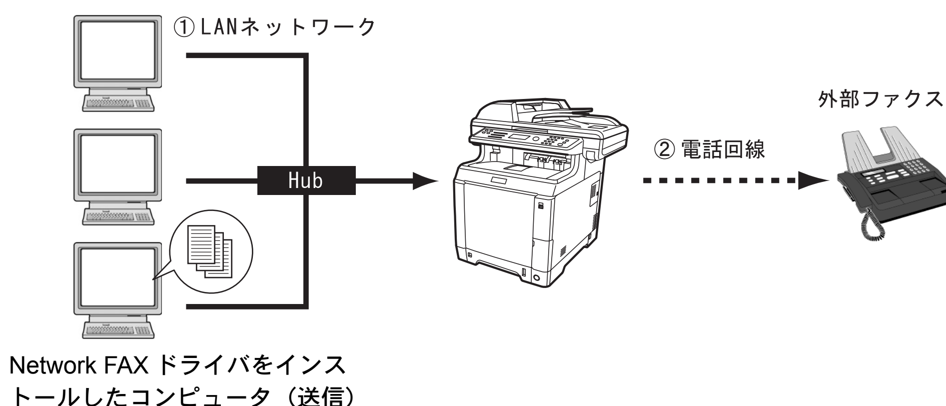
- **受信ファクス原稿を土、日だけ転送する**
  週末の業務終了後から、週明けの営業開始まで、会社に届いた FAX（本機で受信）を別のファクスに転送する場合は、次の操作を行います。
  (1) 業務終了後、転送設定を ON（転送する）に設定する。
  (2) 営業開始時、転送設定を OFF（転送しない）に設定する。

- **外出時に持参したノートパソコンに転送する（E-mail 転送）**
  転送先にメールアドレスを設定しておけば、外出時に会社に届いたファクス（本機で受信）を E-mail に添付して転送することができ、ノートパソコンなどで受信して確認することができます。

- **コンピュータのフォルダに転送する**
  読み取った原稿のイメージを任意のコンピュータの共有フォルダに保存したり（フォルダ（SMB）送信）、FTP のサーバに保存したり（フォルダ（FTP）送信）できます。

Network FAX 送信について

Network FAX 機能は、コンピュータ上のアプリケーションソフトで作成した文書データを、Network FAX ドライバを介して外部のファクスに送信する機能です。この機能を使用するには、ご使用のコンピュータに Network FAX ドライバをインストールする必要があります。詳細は、Network FAX ドライバ操作手順書を参照してください。



こんなときどうしたらいいの

ここでは、本機の使用中に起こった問題の対処法について説明しています。

困ったときは

次の表は、お客様が解決できる問題に対する処置方法について説明しています。故障とお考えの前に、次のチェックを行ってみてください。

現象	処置	参照ページ
電源を入れても操作パネルに何も表示されず、ファンの回る音もしない	電源を一度切ってから、電源プラグを確実に差し込み、電源を入れ直してください。	7 ページ
スタートキーを押してもコピーされない	表示されるメッセージに従って、適切な対応をしてください。 電源キーを押して、スリープモードから復帰してください。本機は 20 秒以内にコピーを開始します。	26 ページ
コピーはできるが、コンピュータから印刷ができない	ネットワークケーブルまたは USB ケーブルを確実に接続してください。 ネットワークケーブルまたは USB ケーブルを交換してください。 他のファイルや印刷コマンドを使って印刷を試みてください。特定のファイルやアプリケーションソフトで問題が発生する場合は、アプリケーションソフトでのプリンタドライバの設定を確認してください。	9 ページ
印刷品質が悪い	本体使用説明書 10 章 困ったときは の「一般的な問題について」を参照してください。	—
ファクス文書を送信できない	モジュラーコードを確実に接続してください。他のコードの交換も試みてください。 FAX 使用説明書の 8 章 こんなときには を参照してください。	10 ページ
メッセージディスプレイにエラーメッセージが出る	「こんな表示が出たら」を参照してください。	59 ページ

問題解決のヒント

本機の問題は、次の対応で簡単に解決できる場合があります。上記の表を参照しても解決できない問題が発生したときは、次の点を確認してください。

- 本機の電源を切って、数秒待ってから電源を入れ直してください。
- 本機に接続しているコンピュータを再起動してください。
- 最新バージョンのプリンタドライバを入手してください。京セラミタ株式会社のホームページからダウンロードできます。
  http://www.kyoceramita.co.jp/download/
- アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、印刷手順が正しいか確認してください。
- 「故障が発生しました」または「エラーが発生しました」が表示された場合、電源を入れ直して復帰するか確認してください。改善されない場合、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。お問い合わせについては、64 ページの「問題が解決しないときは（お問い合わせについて）」を参照してください。

こんな表示が出たら

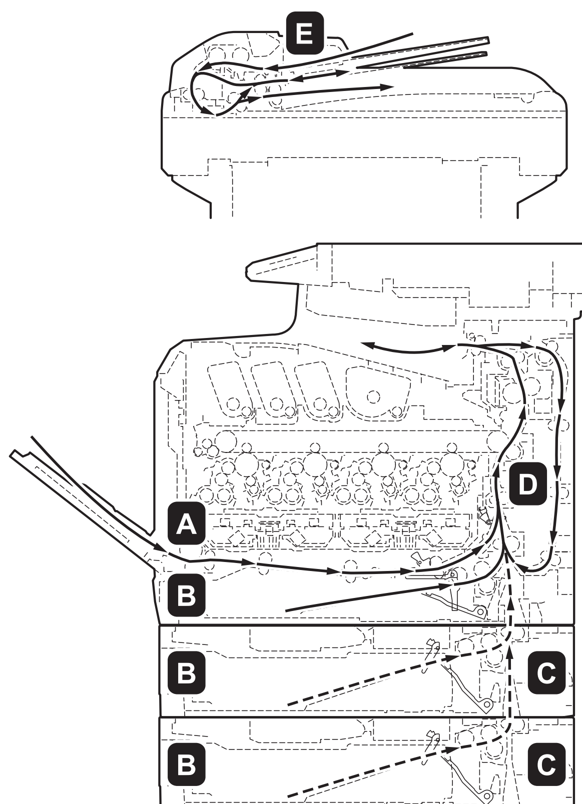
メッセージディスプレイにエラーメッセージが出たときは、それぞれ確認事項と処理方法を参考に問題を解決してください。
下記以外のエラーメッセージが表示された場合は使用説明書 10 章 困ったときは の「エラーメッセージ」を参照してください。問題が解決されないときは、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。

エラーメッセージ	確認事項	処置
カセット 1 に用紙を補給してください。	表示されているカセットの用紙が、なくなっていませんか？	用紙を補充してください。
手差しトレイに用紙を補給してください。	手差しトレイに、設定されたサイズの用紙がセットされていますか？	メッセージディスプレイに表示されたサイズの用紙を、手差しトレイにセットしてください。
トナーが少なくなりました。[C]、[M]、[Y]、[K]	―	トナーコンテナの交換時期が近づいています。一定枚数（約 20 枚）出力すると停止します。[ ] で表示された色のトナーコンテナを準備してください。
トナーを補給してください。[C]、[M]、[Y]、[K]	―	[ ] で表示された色のトナーコンテナを交換してください。
廃棄トナーボックスを確認してください。	廃棄トナーボックスが正しく装着されていますか？	廃棄トナーボックスを装着し直してください。
	廃棄トナーがいっぱいになっていませんか？	廃棄トナーボックスを交換してください。
上トレイの用紙がいっぱいです。用紙を取り除いてください。	―	上トレイから用紙を取り出して、OK キーを押してください。出力を再開します。
原稿送り装置を閉じてください。	原稿送り装置が開いていませんか。	原稿送り装置を閉じてください。
	原稿送り装置カバーが開いていませんか。	原稿送り装置カバーを確実に閉めてください。
原稿送り装置から原稿を取り除いてください。	原稿送り装置に原稿が残っていませんか？	原稿送り装置の原稿を取り除いてください。
ログインユーザ名またはパスワードが違います。	―	正しいログインユーザ名またはパスワードを入力してください。
紙づまりです。	―	「紙づまりの処置」を参照して対処してください。
エラーが発生しました。主電源スイッチを入れ直してください。	―	システムエラーが発生しています。主電源スイッチをいったんオフにし、再度オンにしてください。
故障が発生しました。サービス担当者に連絡してください。	―	本機内部で異常が発生しています。主電源スイッチをいったんオフにし、5 秒以上あけてから再度オンにしてください。その後も同じエラーコードが表示される場合は、メッセージディスプレイに表示されているエラーコードを書きとめてください。主電源スイッチを切ってから電源プラグを抜き、サービス担当者にご連絡ください。
	エラーコード 4201 ～ 4204 が表示されていますか？	急激な温度の変化によって、本機内部に結露が発生しています。主電源スイッチを切り、30 ～ 90 分放置してから再び電源を入れてみてください。その後も同じエラーコードが表示される場合は、主電源スイッチを切ってから電源プラグを抜き、サービス担当者にご連絡ください。

紙づまりの処置

用紙が本体内部でつまったときや、用紙が給紙カセットより給紙されなかったときは、紙づまりを知らせるメッセージが表示され、コピーや印刷を中止します。つまった用紙を取り除くと通常の状態に戻り、印刷が再開します。
本機はオンラインヘルプメッセージ機能により、紙づまりの処理方法がメッセージディスプレイに表示されます。紙づまりのメッセージが表示された場合は、[ヘルプ]（左 Select キー）を押してください。
オンラインヘルプメッセージは▽キーで次の手順のメッセージが表示され、△キーで前の手順に戻ります。
OK キーを押すと、ヘルプメッセージは終了します。

以降の説明を参考にして、主電源スイッチをオンにした状態でつまった用紙を取り除いてください。
紙づまり位置の詳細は次のとおりです。参照ページを確認して、つまった用紙を取り除いてください。



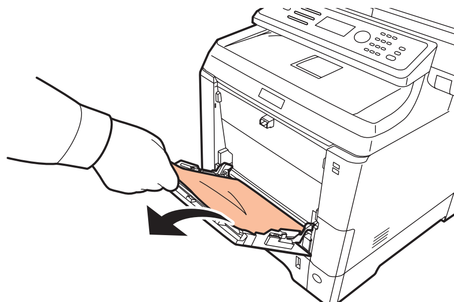
紙づまりの発生位置	参照ページ
A	手差しトレイでの紙づまり（61 ページ）
B	給紙カセットでの紙づまり（61 ページ）
C	ペーパーフィーダ（オプション）での紙づまり（61 ページ）
D	搬送ユニットでの紙づまり（62 ページ）
E	原稿送り装置での紙づまり（63 ページ）


重要
つまった紙を取り除く際は、本機内部に紙片を残さないように注意してください。

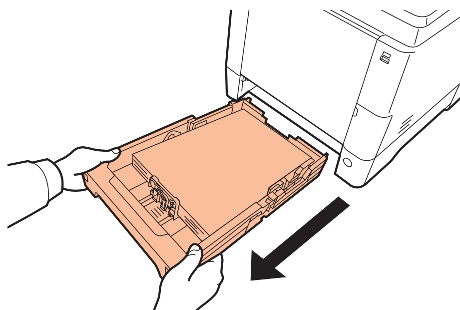
手差しトレイでの紙づまり

1 手差しトレイにつまっている用紙を取り除いてください。

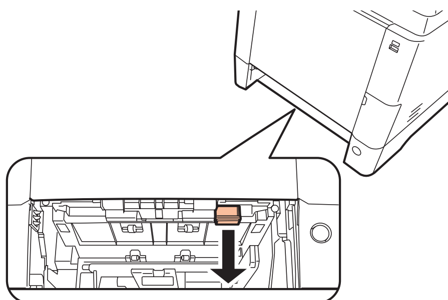
用紙が取り出せない場合は、無理に取り出さずに手順2に進んでください。



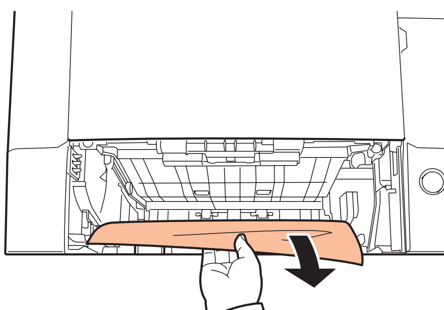
2 給紙カセットを本体から抜き出してください。



3 搬送下カバーを下向きに開けてください。

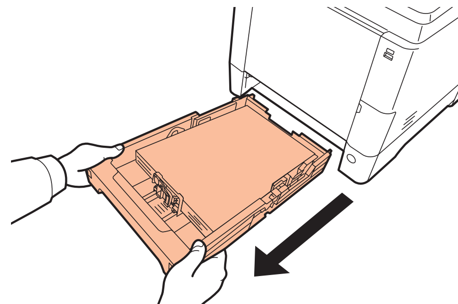


4 つまった用紙を取り除いてください。

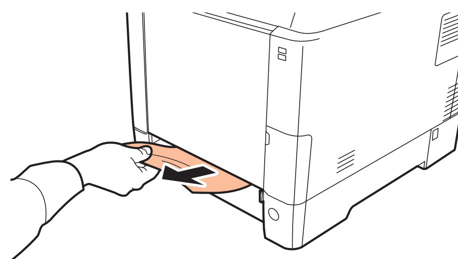


給紙カセットでの紙づまり

1 給紙カセットを本体から抜き出してください。



2 つまった用紙を取り除いてください。

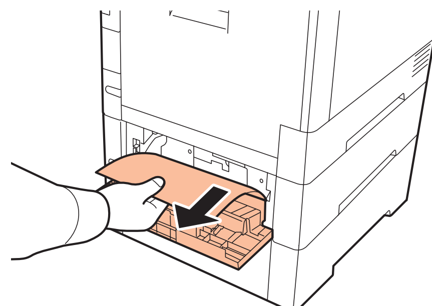


- 用紙が取り出せない場合は、無理に取り出さずに、62ページの「搬送ユニットでの紙づまり」に進んでください。
- オプションのペーパーフィーダの給紙カセットで起きた紙づまりの場合は、「ペーパーフィーダ（オプション）での紙づまり」も確認してしてください。

ペーパーフィーダ（オプション）での紙づまり

「給紙カセットでの紙づまり」を参照して用紙が取り出せない場合は、ペーパーフィーダの後カバーを開け、つまった用紙を取り除いてください。

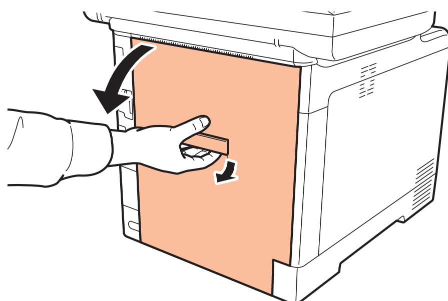
用紙が取り出せない場合は、無理に取り出さずに、62ページの「搬送ユニットでの紙づまり」に進んでください。



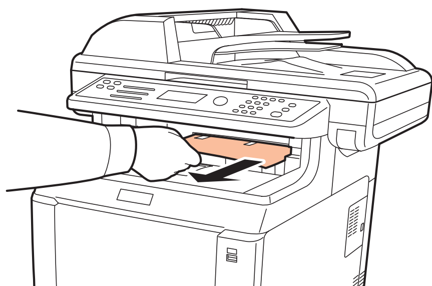
搬送ユニットでの紙づまり

注意
定着カバーの内部は高温になっています。やけどの恐れがありますのでご注意ください。

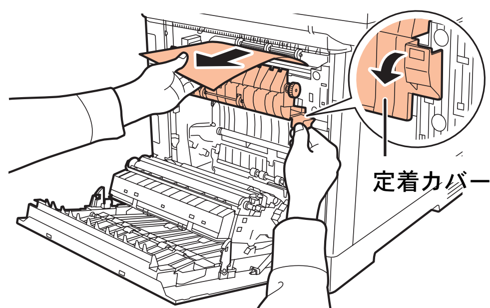
1 後カバーレバーを引き上げ、後カバーを開けてください。



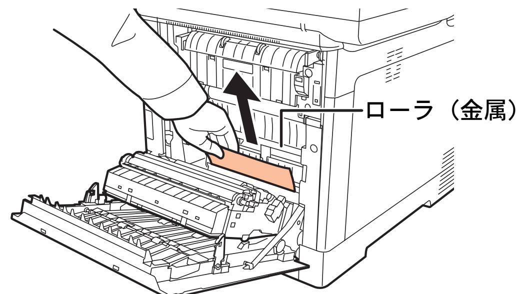
2 上トレイにほとんど用紙が出ている紙づまりの場合は、用紙を引き出して取り除いてください。



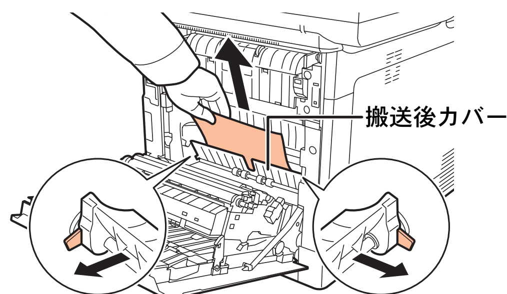
3 定着部に達した紙づまりの場合は、定着カバーを開けて、用紙を引き出して取り除いてください。



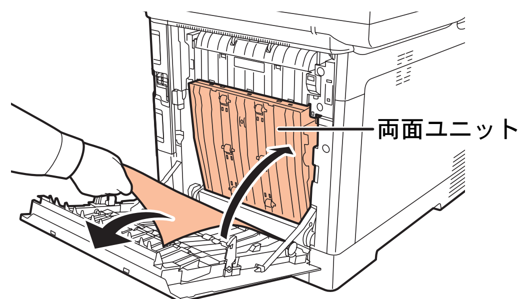
4 ローラ（金属）に達していない紙づまりの場合は、用紙を引き出して取り除いてください。



5 本体内部の紙づまりの場合は、搬送後カバーを開けて、用紙を引き出して取り除いてください。

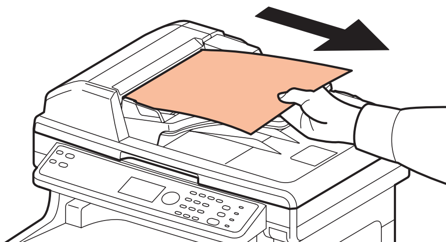


6 両面ユニットに達した紙づまりの場合は、両面ユニットを持ち上げて、用紙を取り除いてください。

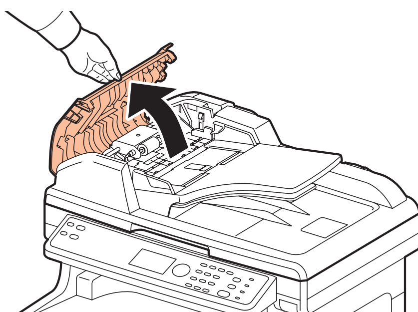


原稿送り装置での紙づまり

1 原稿トレイから、すべての原稿を取り除いてください。

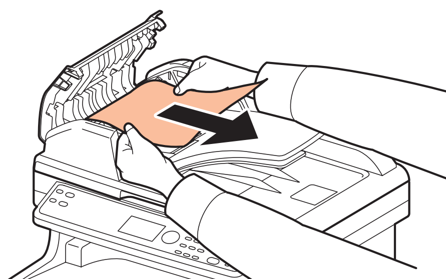


2 原稿送り装置カバーを開けてください。

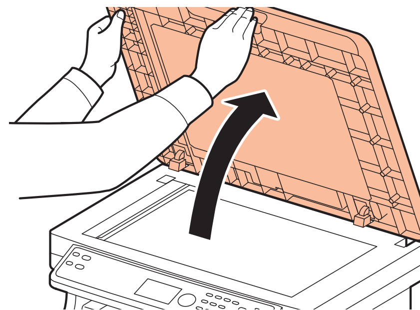


3 つまった原稿を取り除いてください。

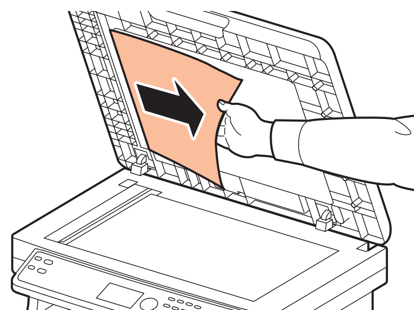
原稿がローラに引っかかって取り除くことができない場合は、次の手順に進んでください。



4 原稿送り装置を持ち上げてください。



5 つまった原稿を取り除いてください。



トナーコンテナ・廃棄トナーボックスの交換

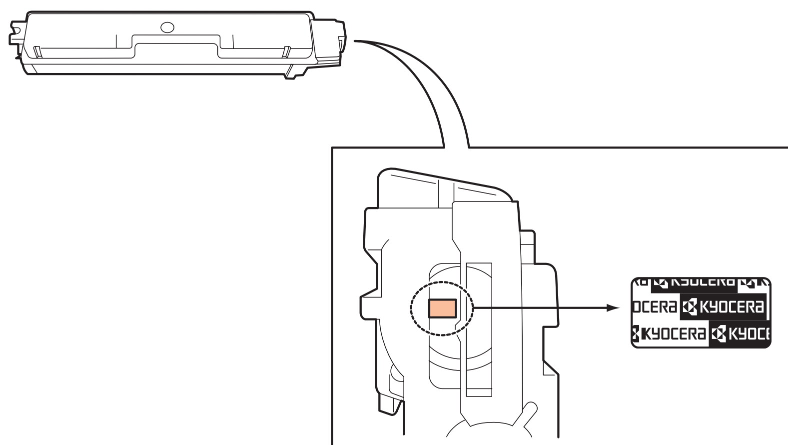
メッセージディスプレイに「トナーを補給してください」と表示されたときは、トナーコンテナを交換してください。また、「廃棄トナーボックスを確認してください」と表示されたときは、廃棄トナーがいっぱいであれば、廃棄トナーボックスを交換してください。
これらの交換方法については、使用説明書 9 章日常のメンテナンス の「トナーコンテナの交換」および「廃棄トナーボックスの交換」を参照してください。

トナーコンテナの型番号

シアン（C）	マゼンタ（M）	イエロー（Y）	ブラック（K）
TK-591C	TK-591M	TK-591Y	TK-591K

- トナーコンテナのご購入や相談は、京セラミタジャパンにお問い合わせください。（廃棄トナーボックスはトナーコンテナに付属しています。）
- 京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。
  詳しくは、京セラミタのホームページ（http://www.kyoceramita.co.jp/support/）を参照してください。

印刷品質維持のため、トナーコンテナは京セラミタ純正品の使用をお勧めします。
京セラミタ製品には、数々の品質検査に合格した京セラミタ純正品のトナーコンテナをご使用ください。
純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。
純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。
京セラミタ純正消耗品には、以下のホログラムシールが貼られています。



問題が解決しないときは（お問い合わせについて）

本書や使用説明書を参照しても問題が解決できない場合は、23 ページの「本機のシリアル番号や状態の確認」を参照してシリアル番号を控え、可能であればステータスページを印刷してから、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。

商標について

- Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は、Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 本製品には、Independent JPEG Group のソフトウェアが含まれています。
- その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には TM および ® は明記していません。

QUALITY CERTIFICATE

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

KYOCERA

お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社
京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp

お客様相談窓口



0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

市内通話料金でご利用いただけます。

初版 2010.6

Printed in China 302KW56010

